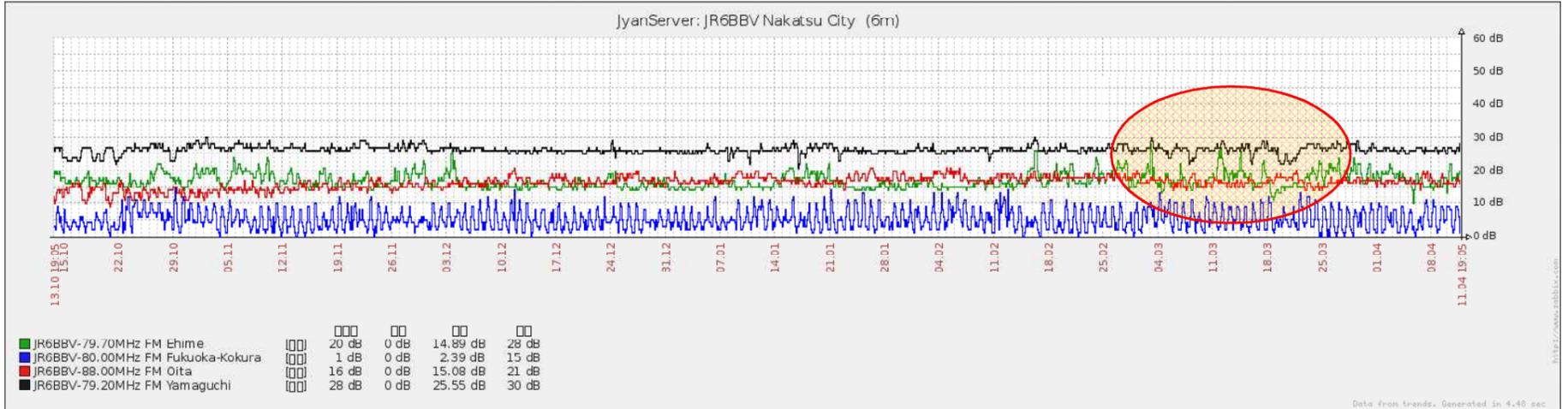
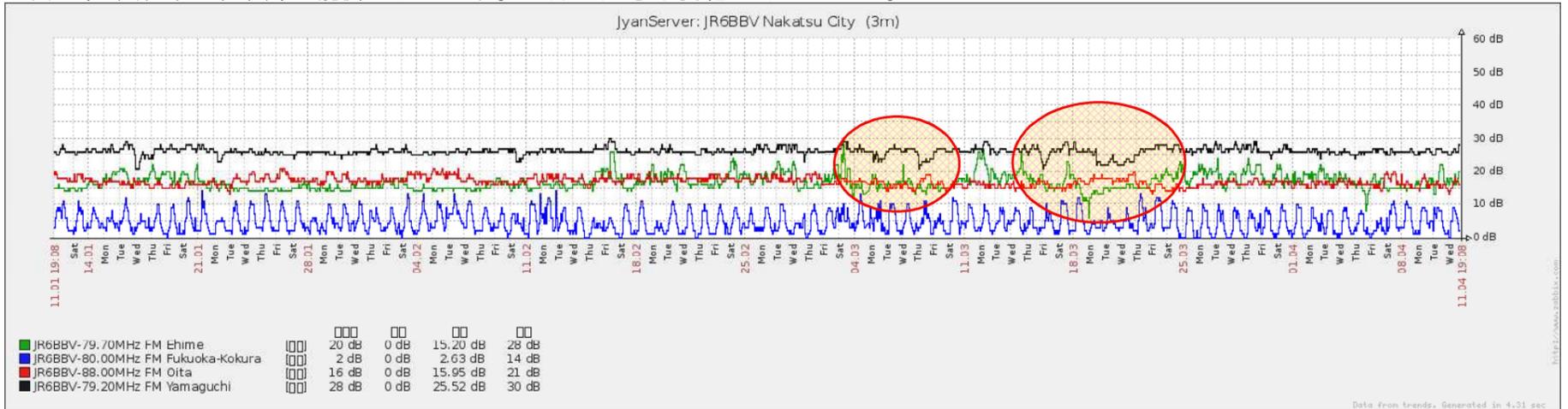


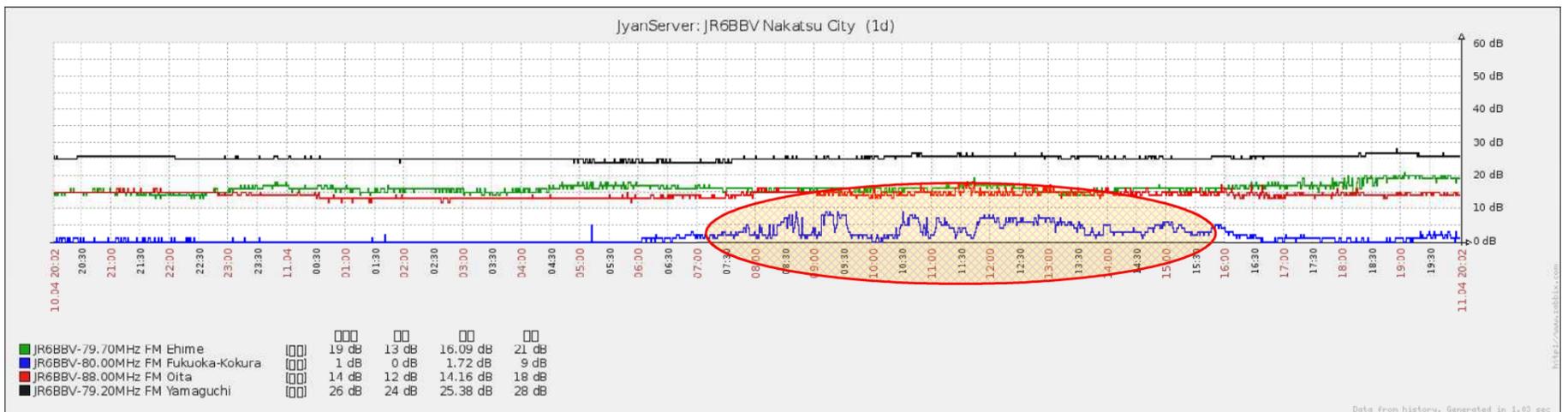
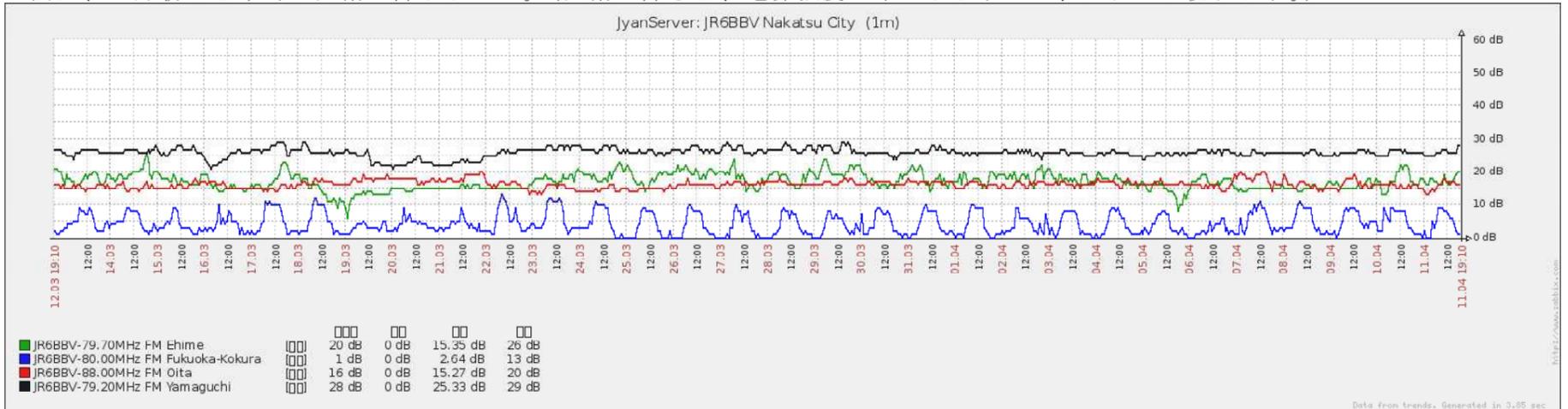
上図は、中津観測局の電波強度観測グラフです。愛媛、小倉、大分、山口方向の一年間の観測グラフです。



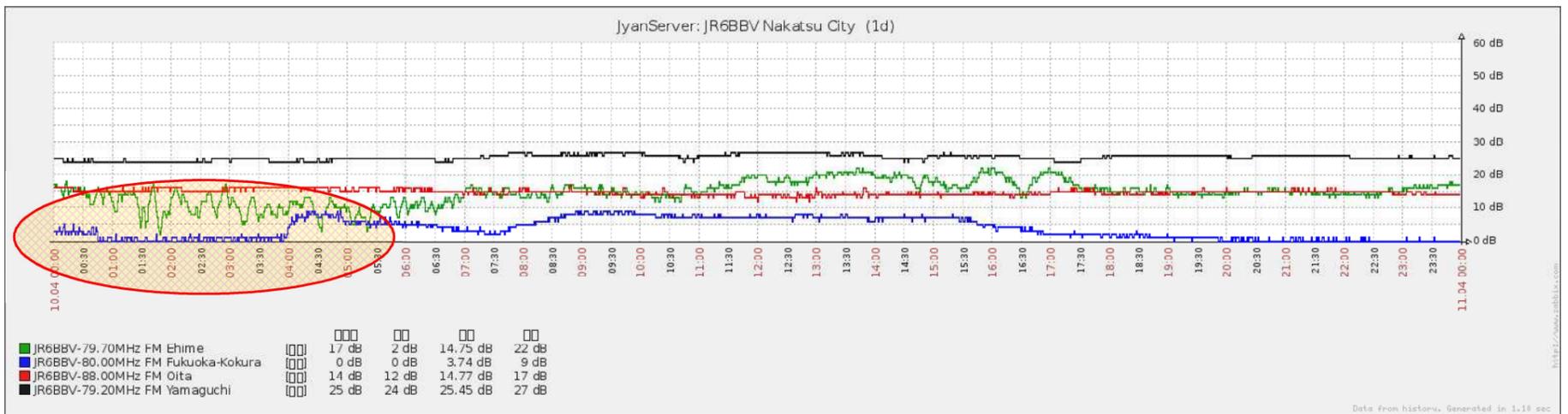
上図は、中津局の半年間の観測グラフです。3月に大きな変化がありました。



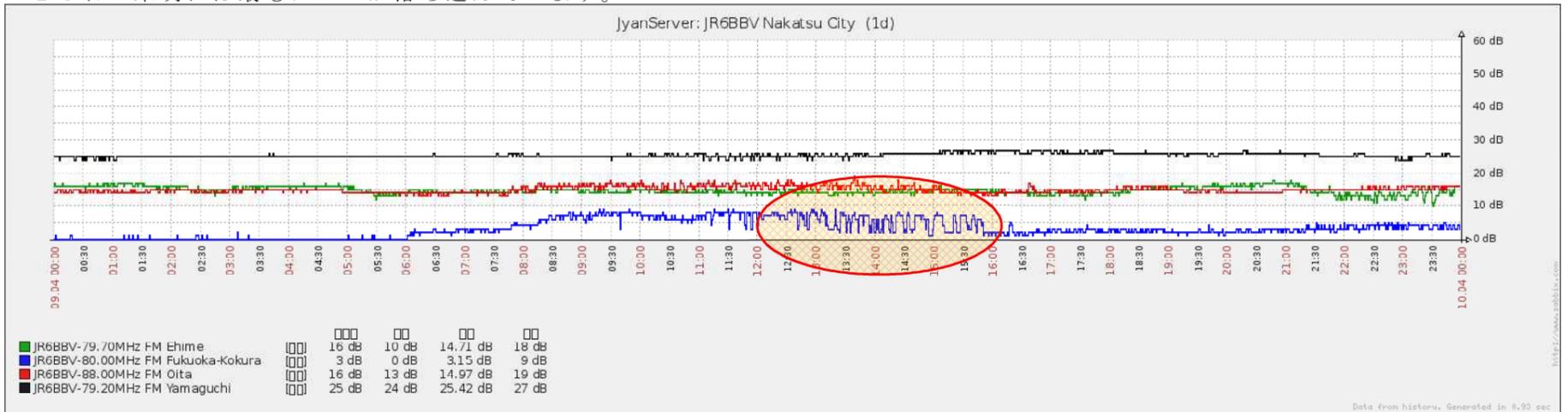
上図は、3月初めと中旬に大雨が降りました。(大雨が降ると、電界強度が下がりますので、グラフに現れます。)



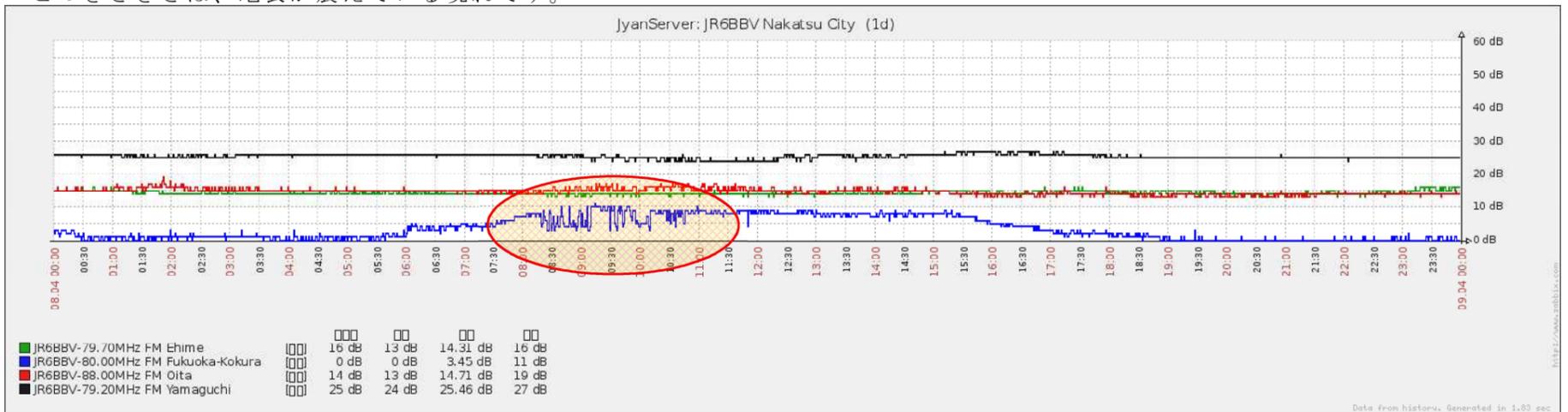
これは、中津地方の山岳地域の電磁変化です。一日の変化が判ります。



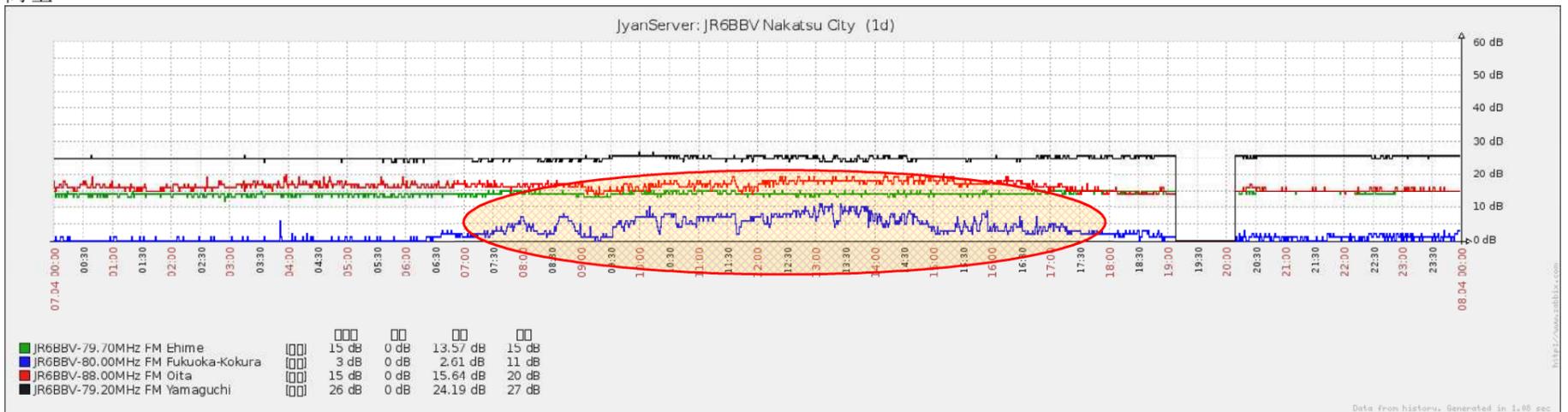
10日の未明には最もブルーが落ち込んでいます。



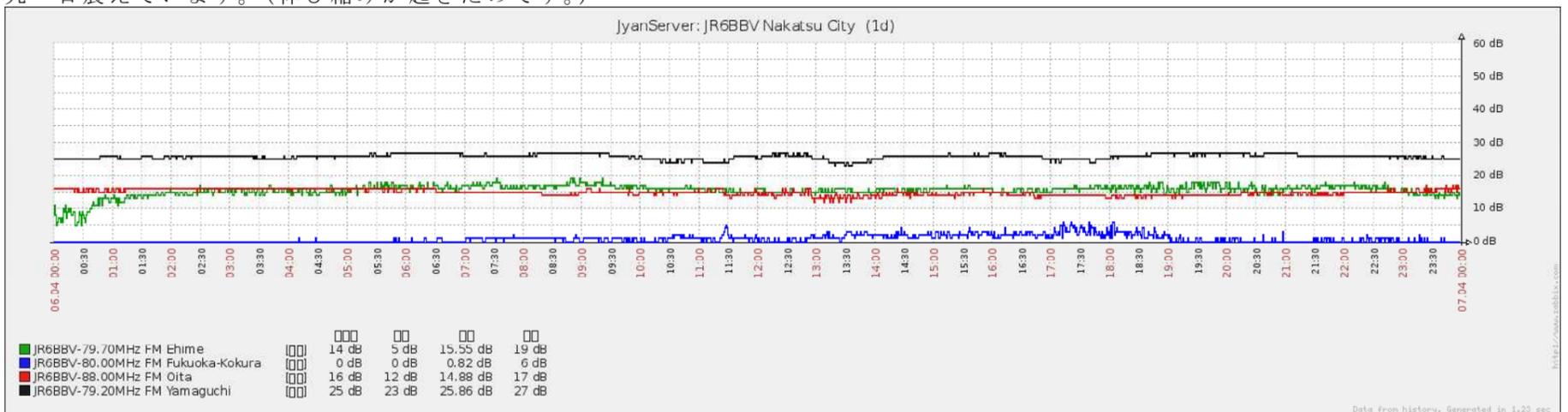
このぎざぎざは、地表が震えている現れです。

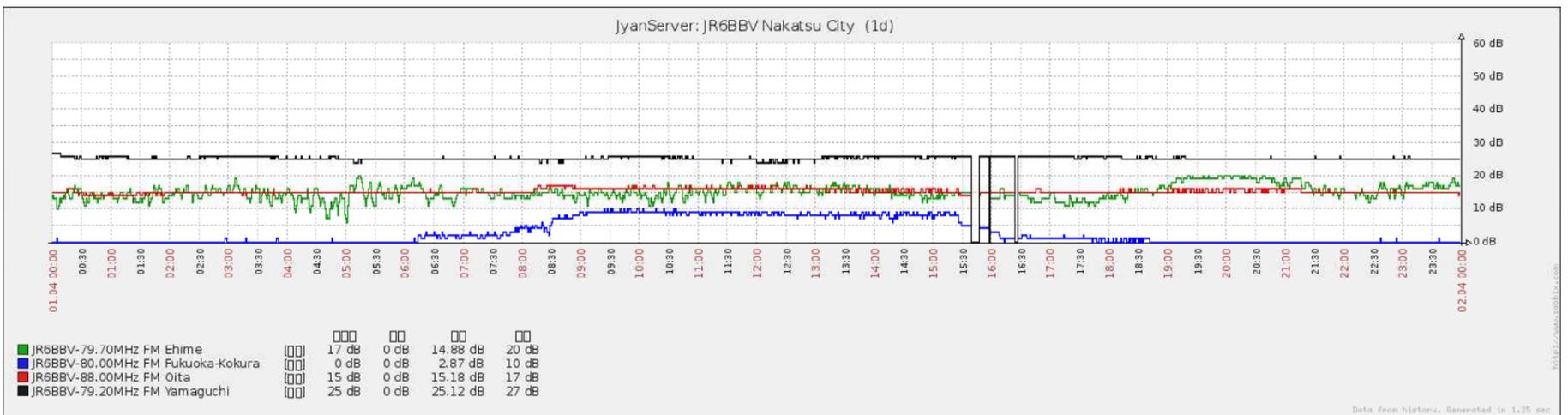
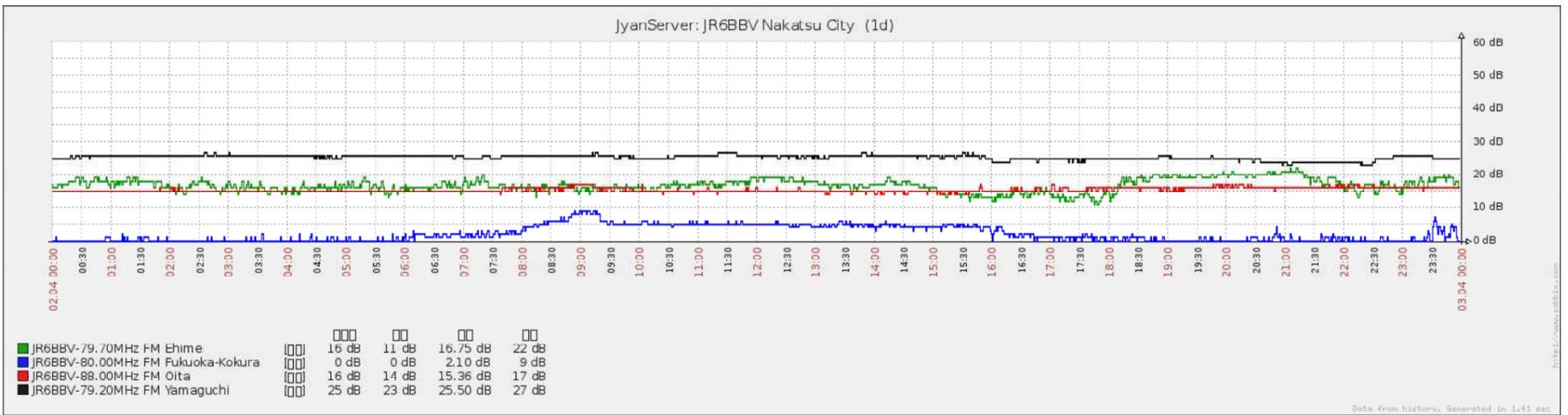
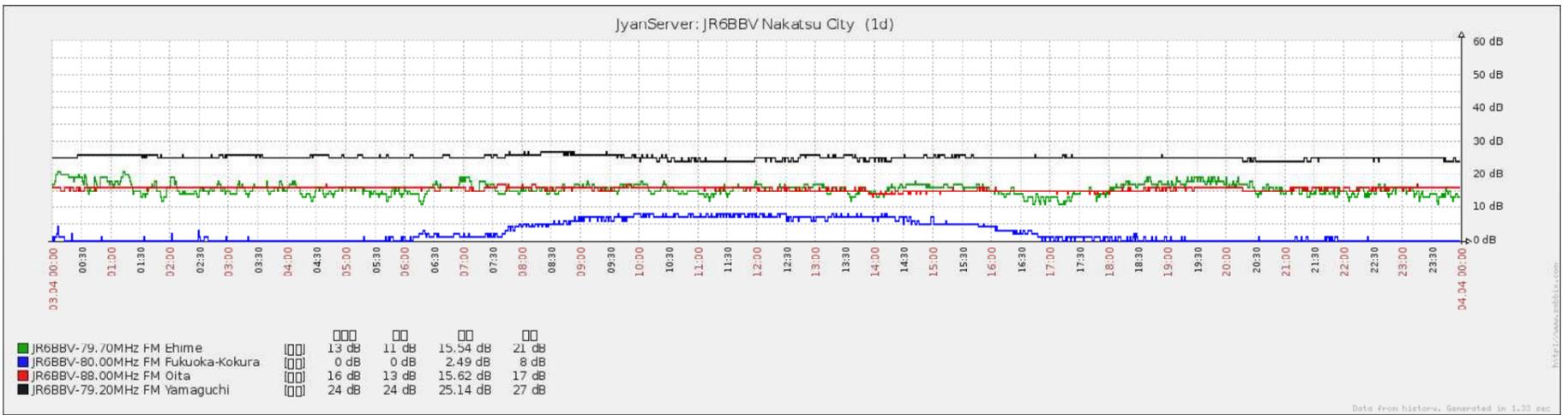
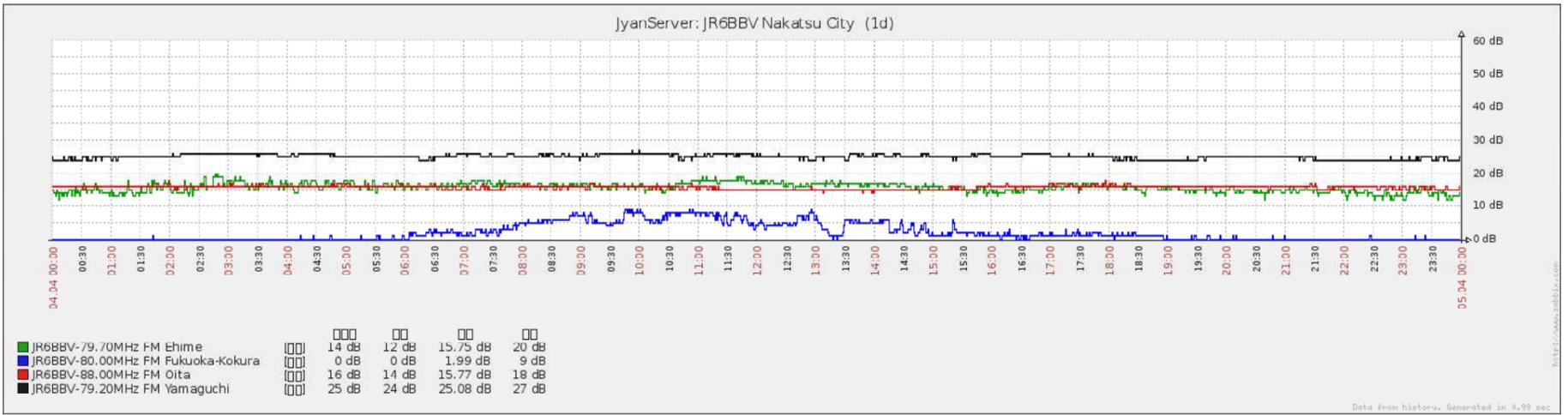
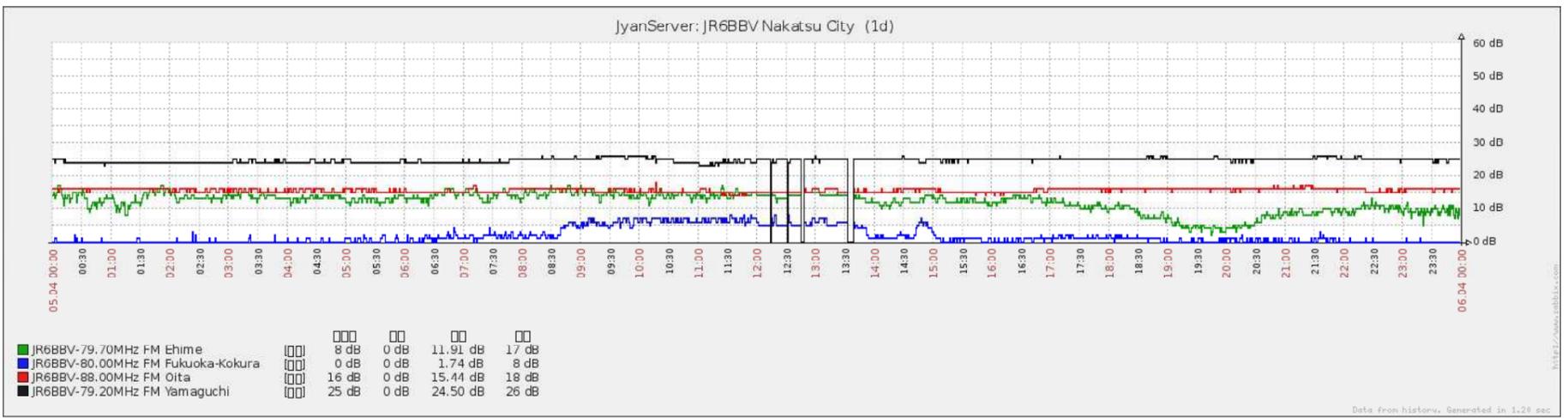


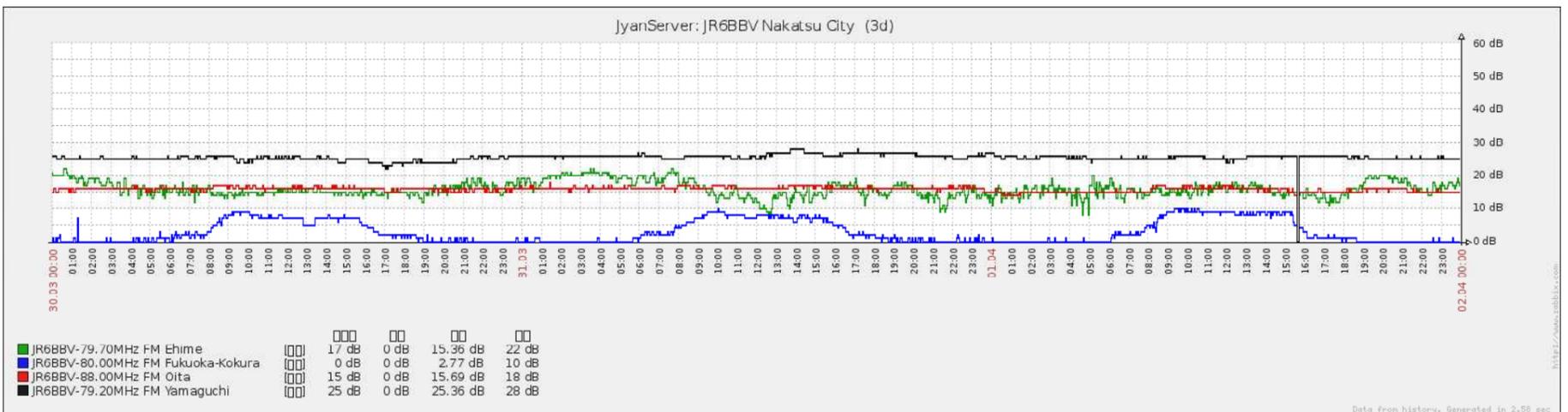
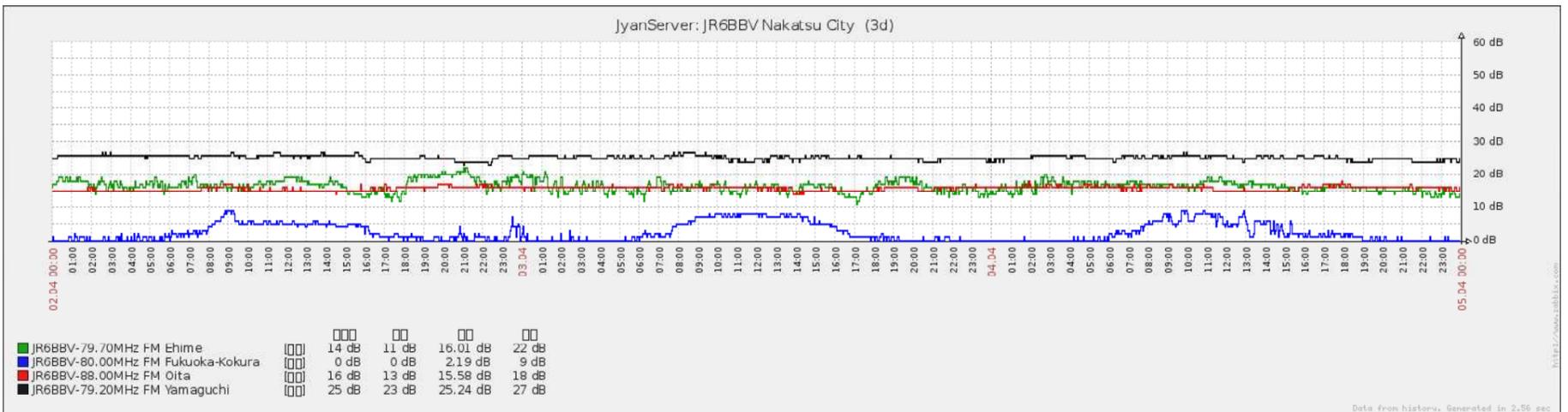
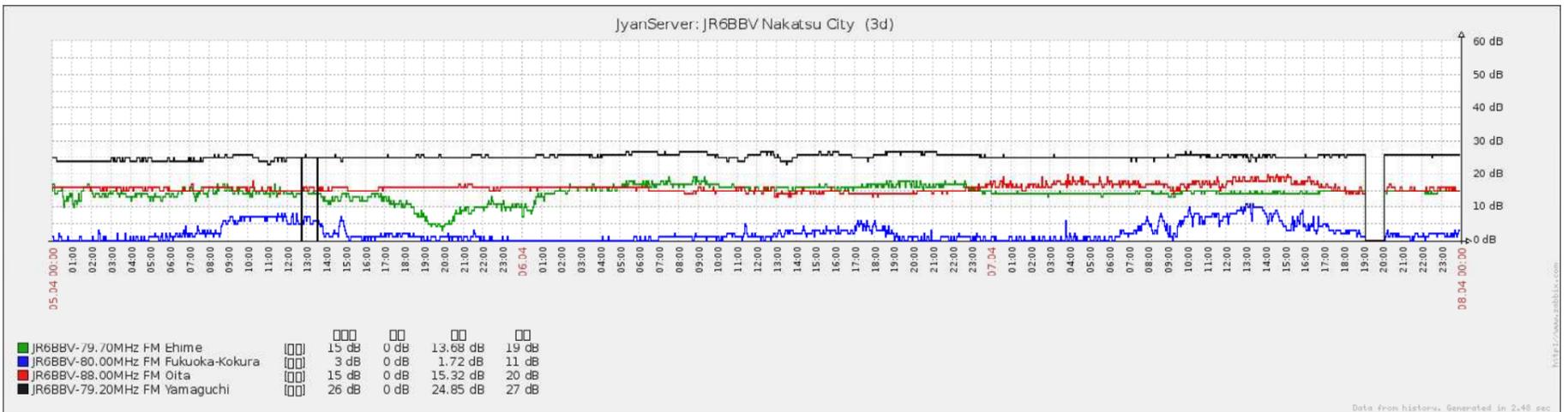
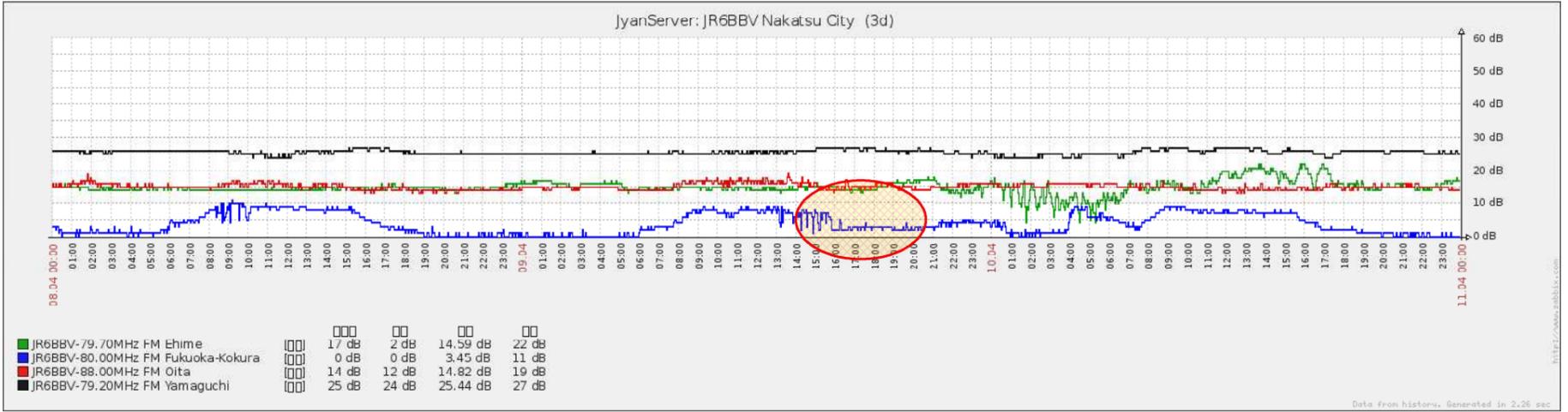
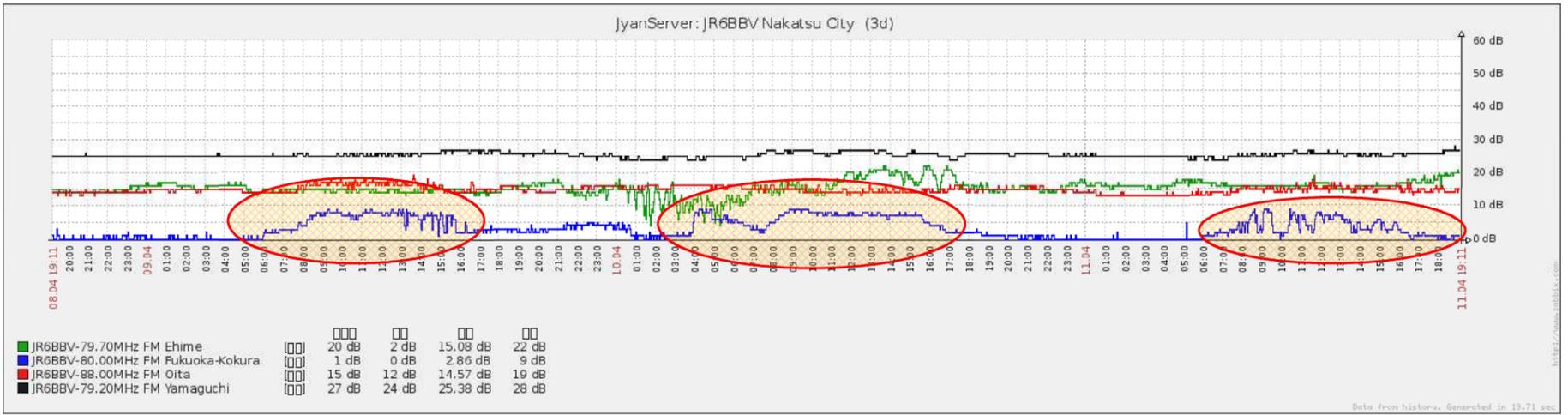
同上

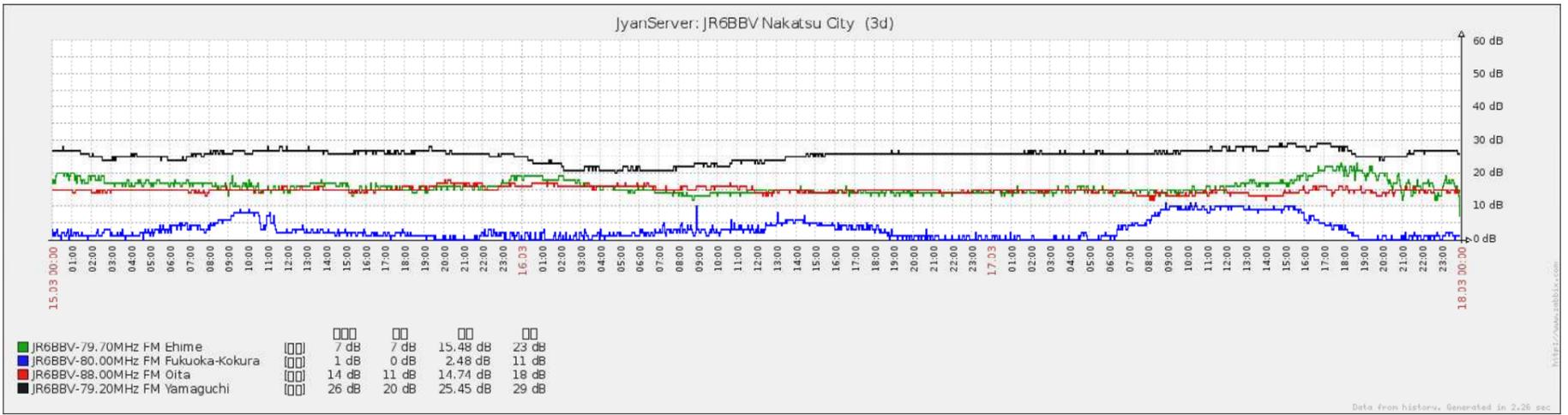
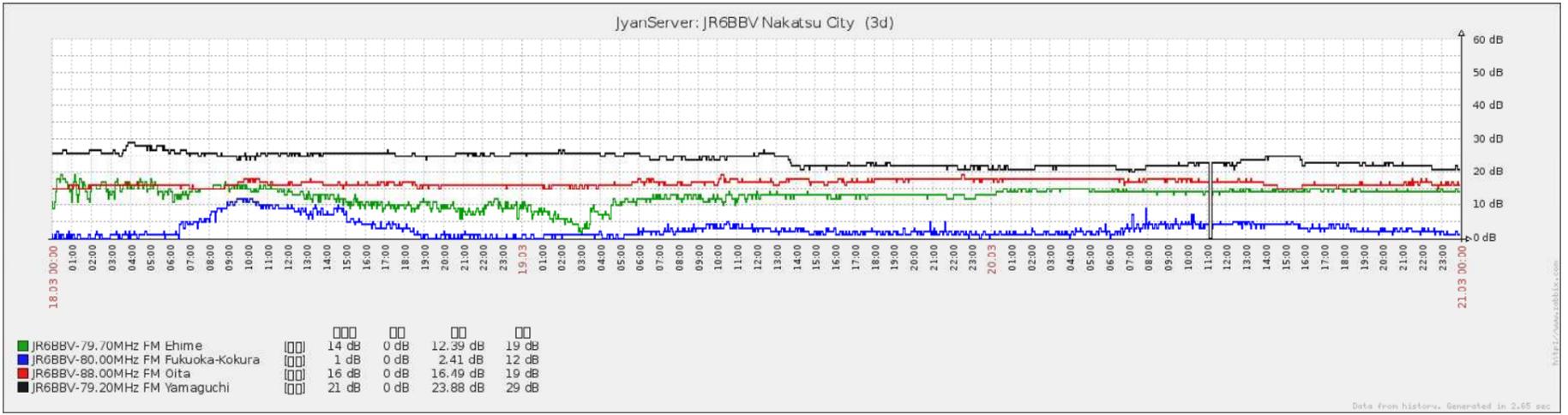
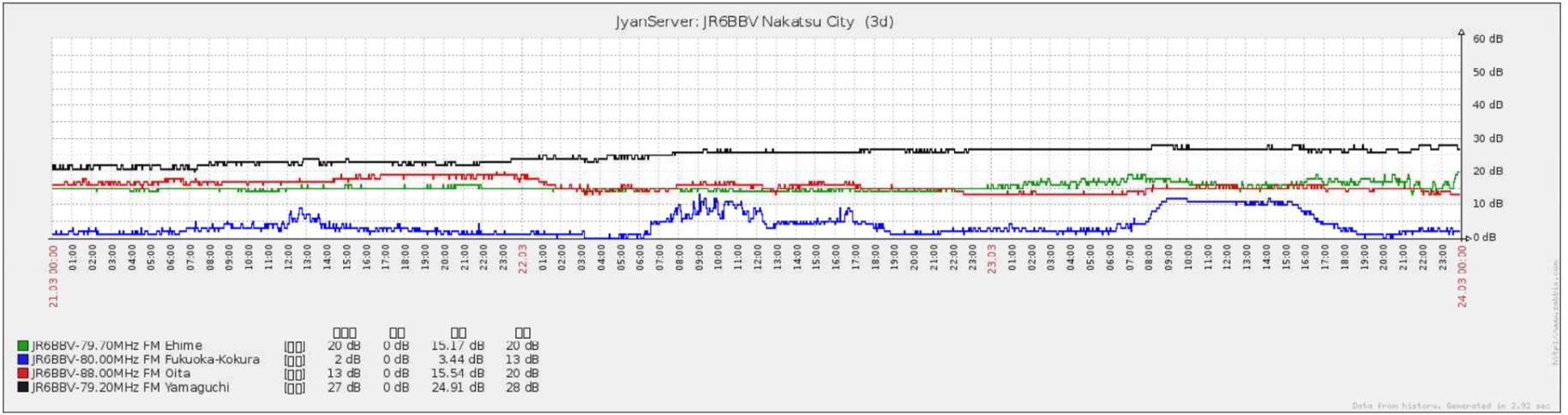
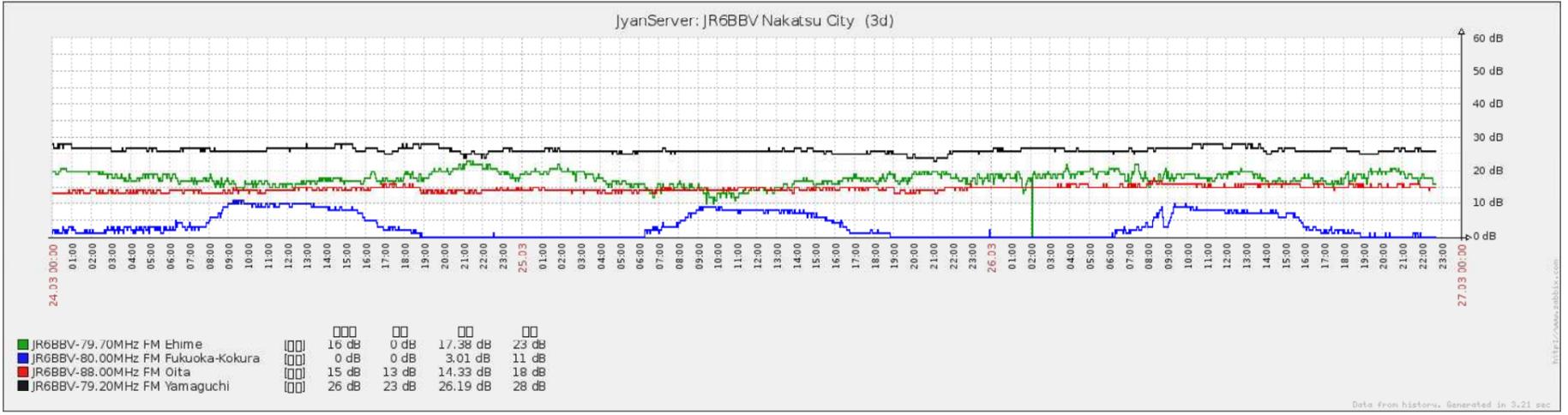
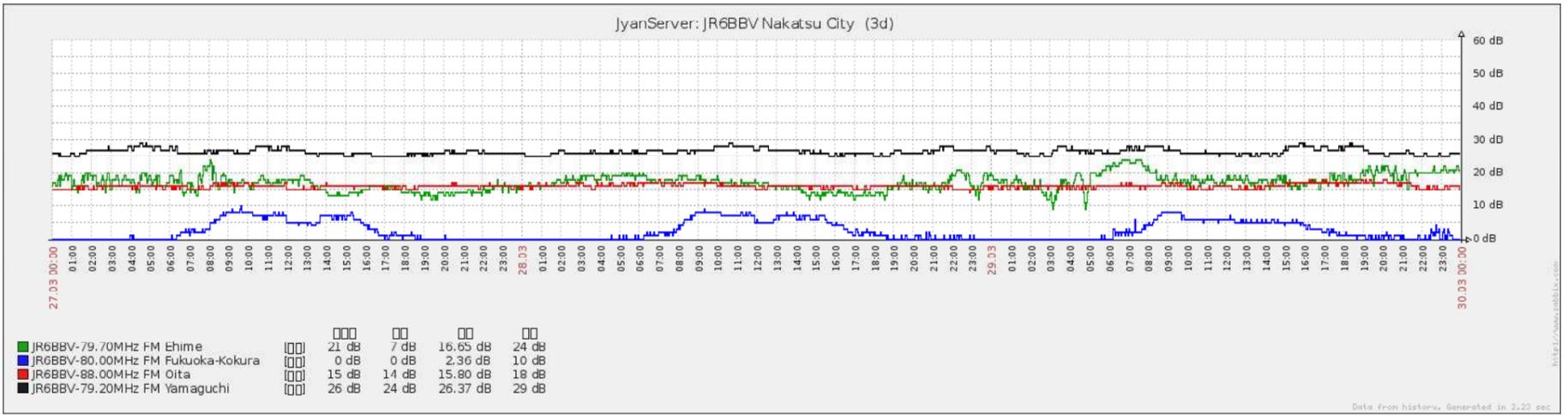


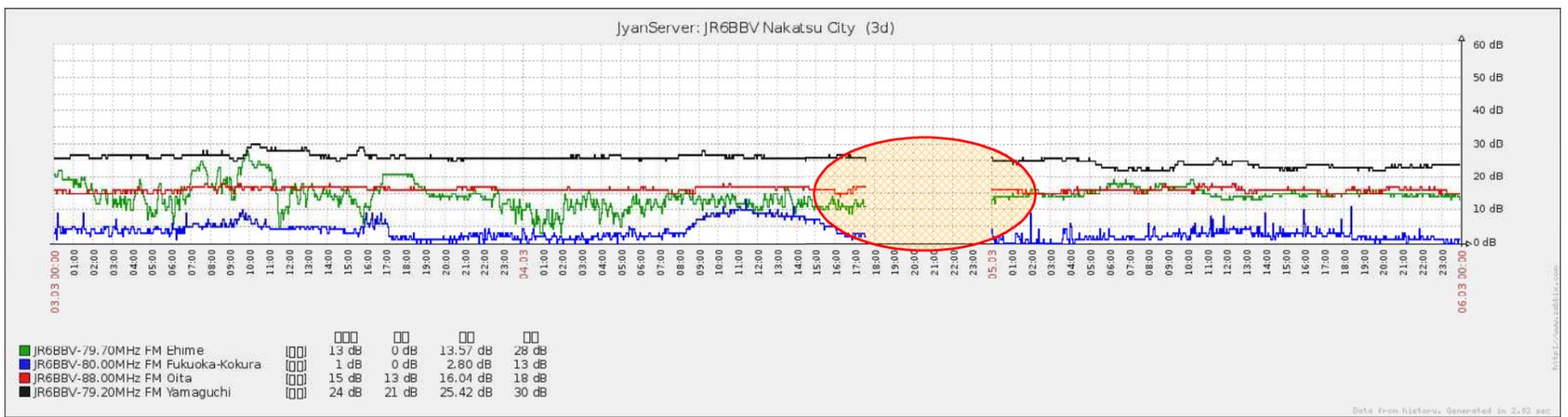
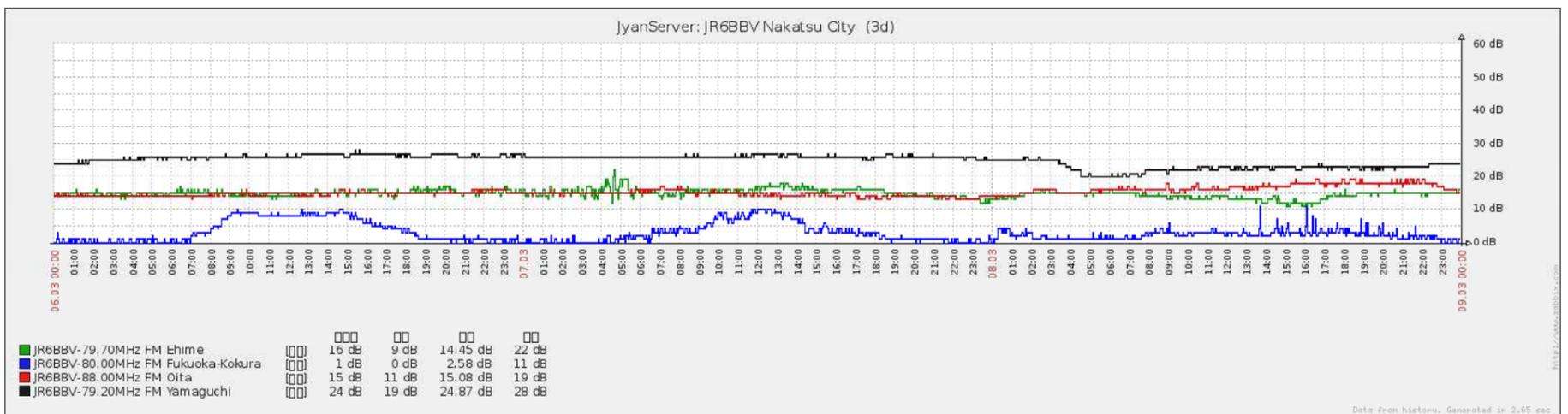
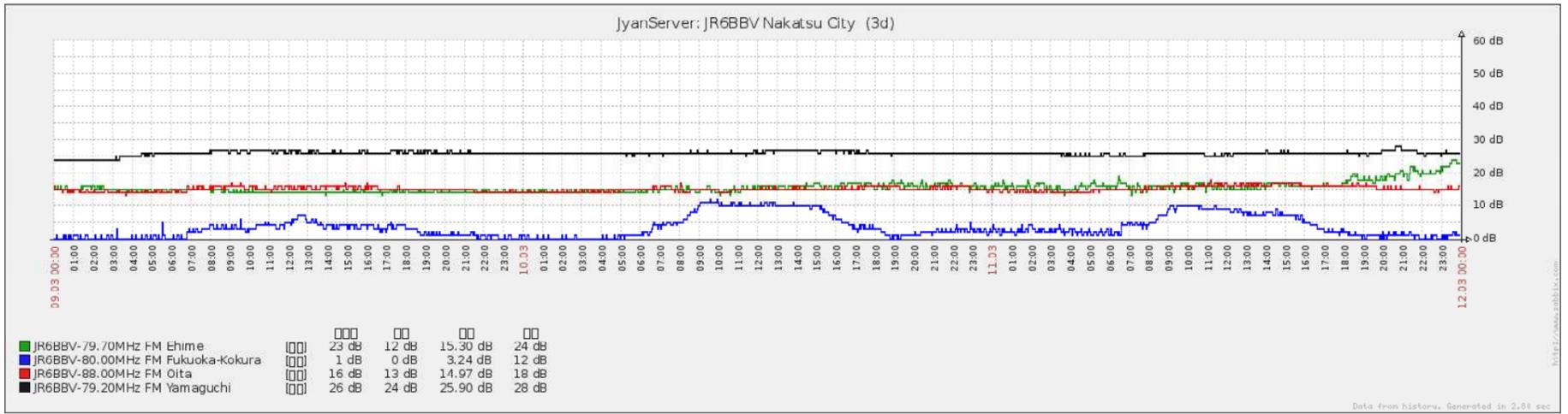
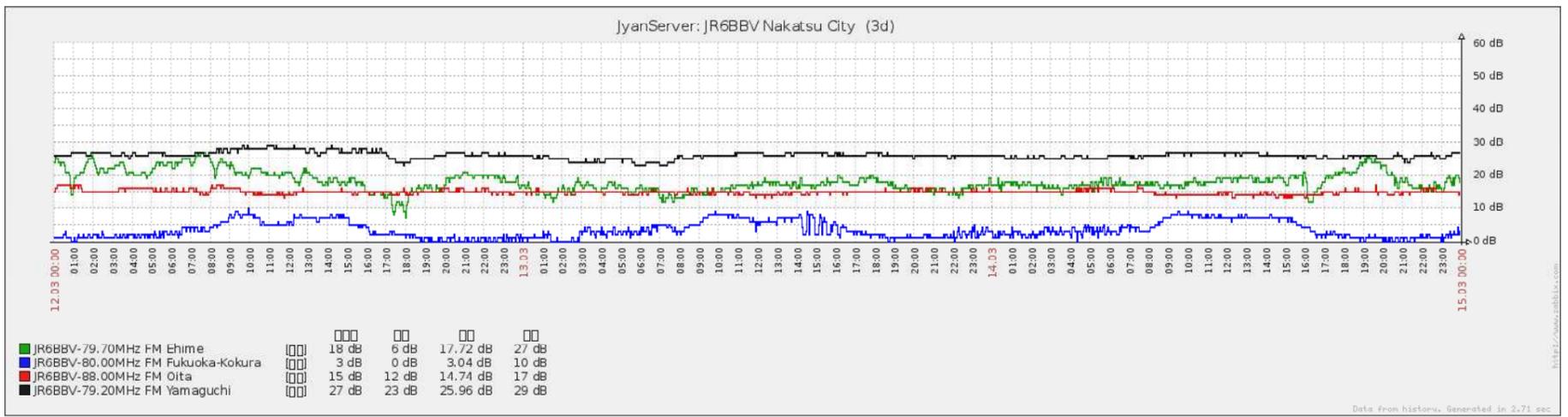
丸一日震えています。(伸び縮みが起きたのです。)



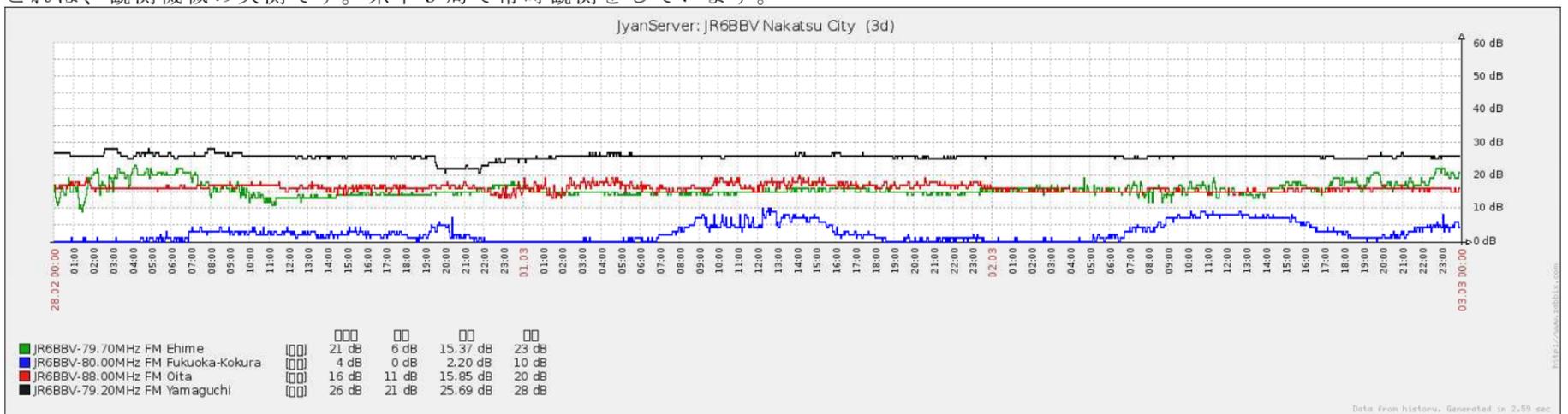


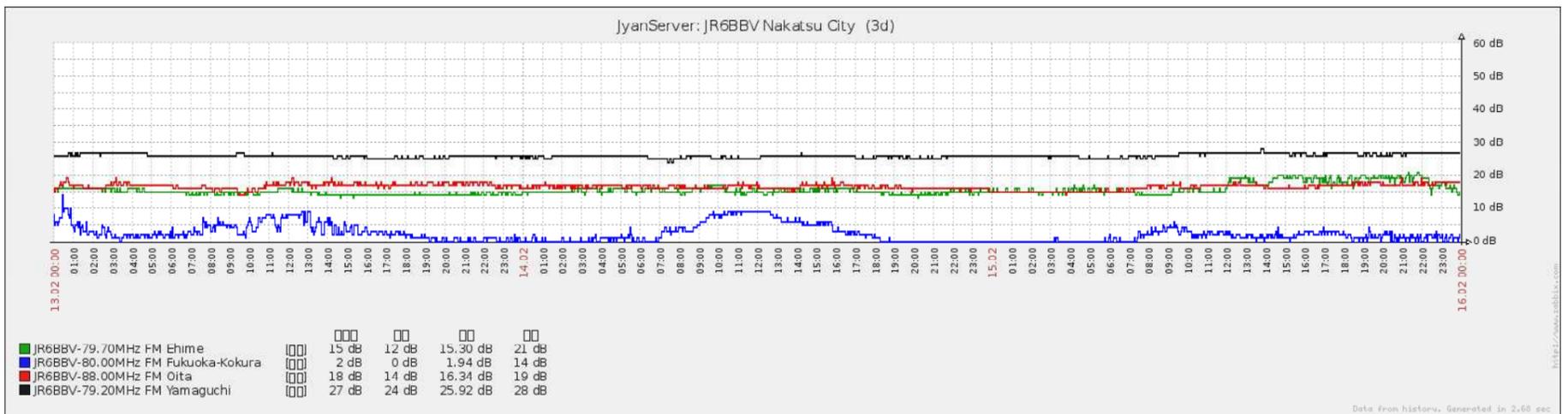
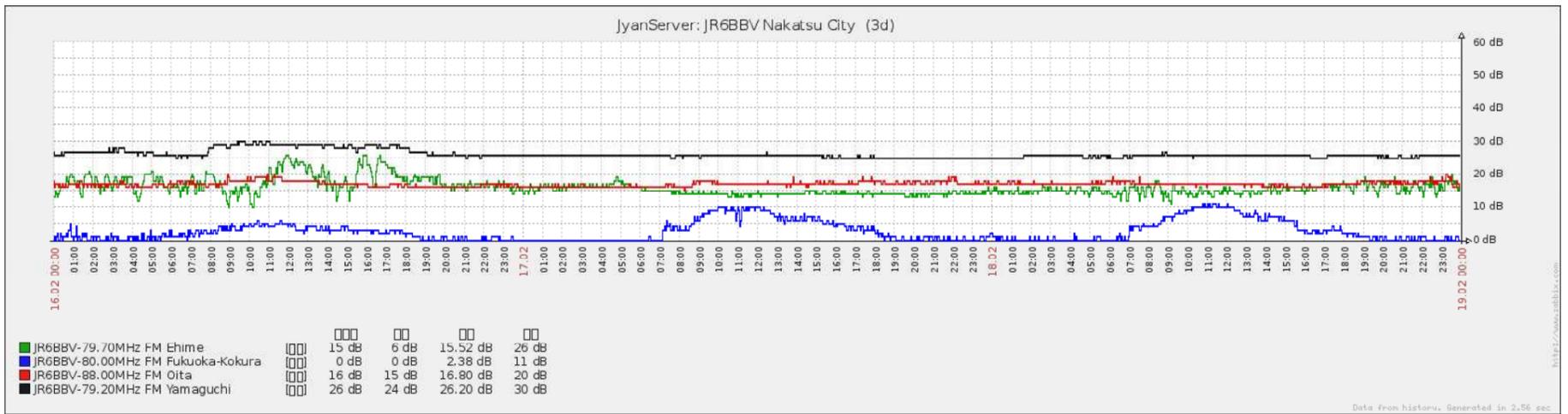
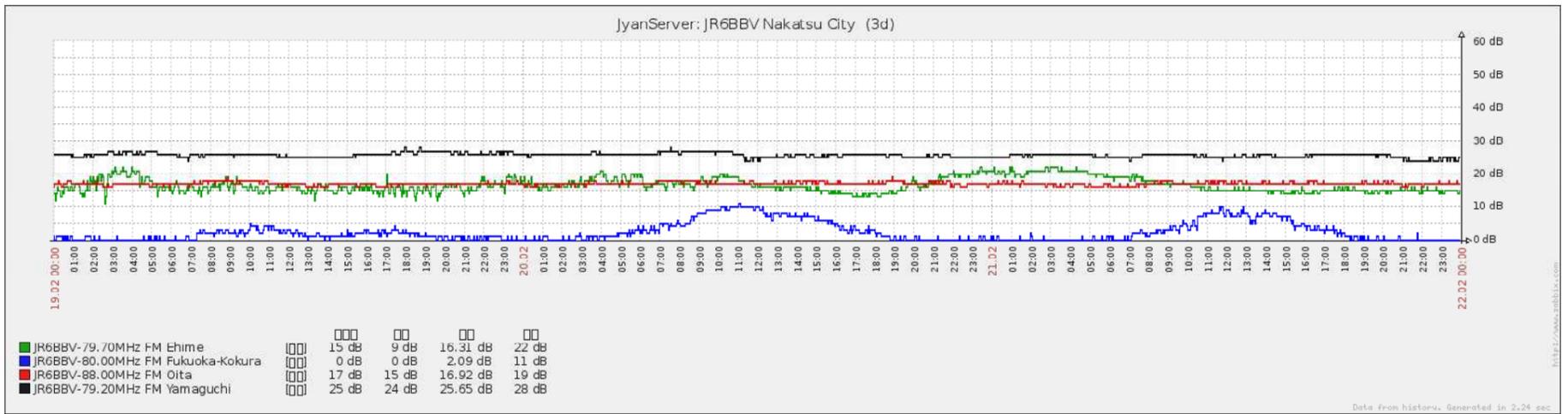
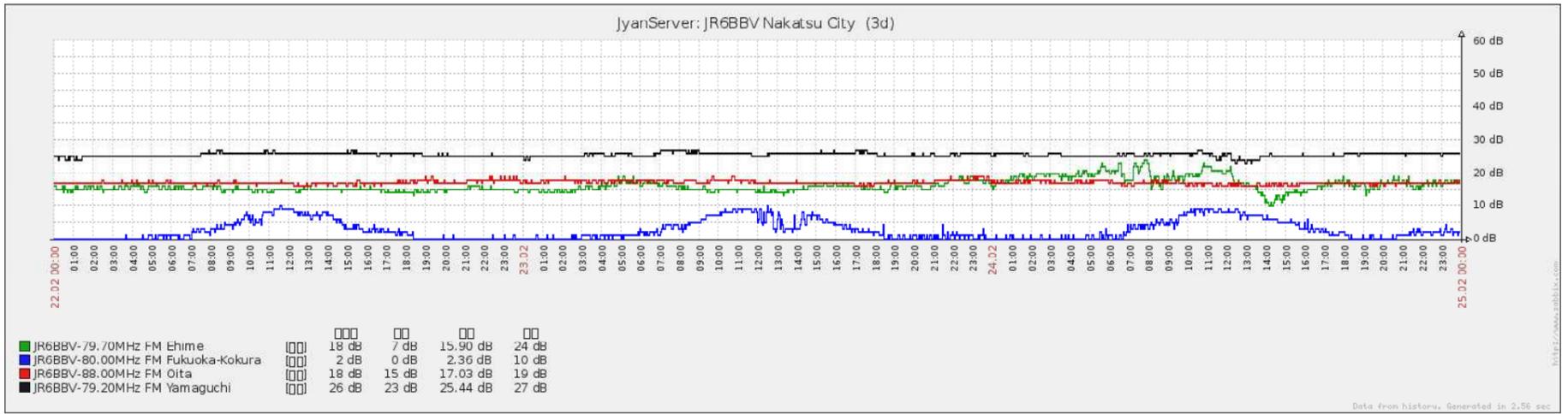
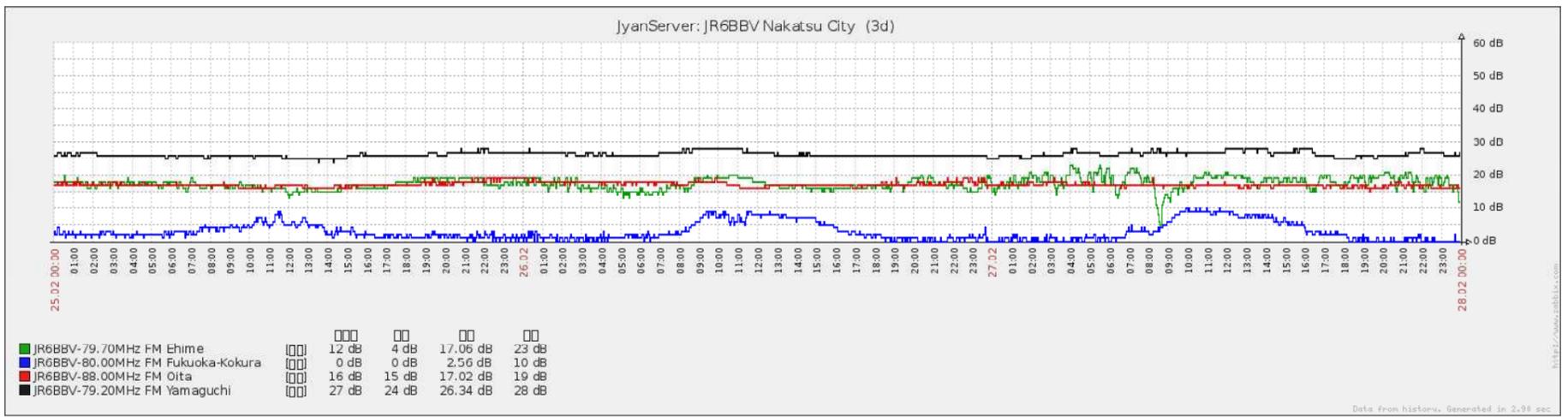


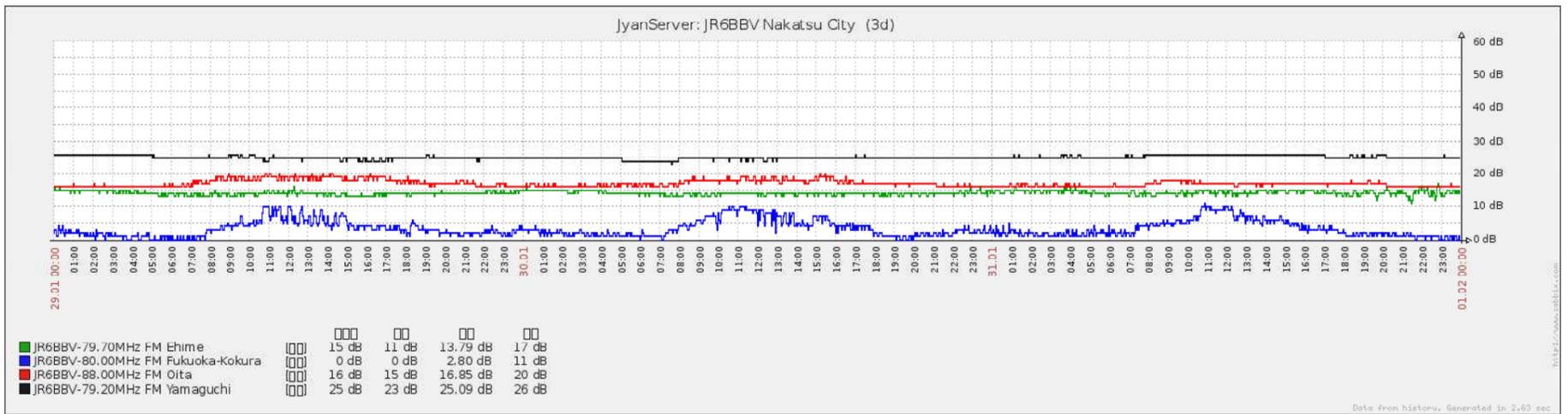
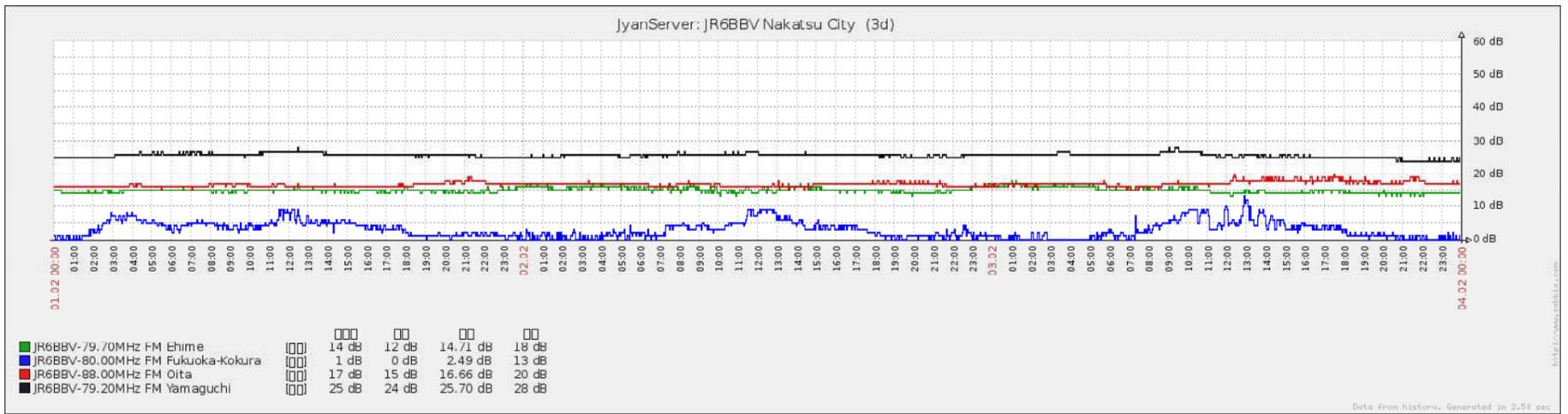
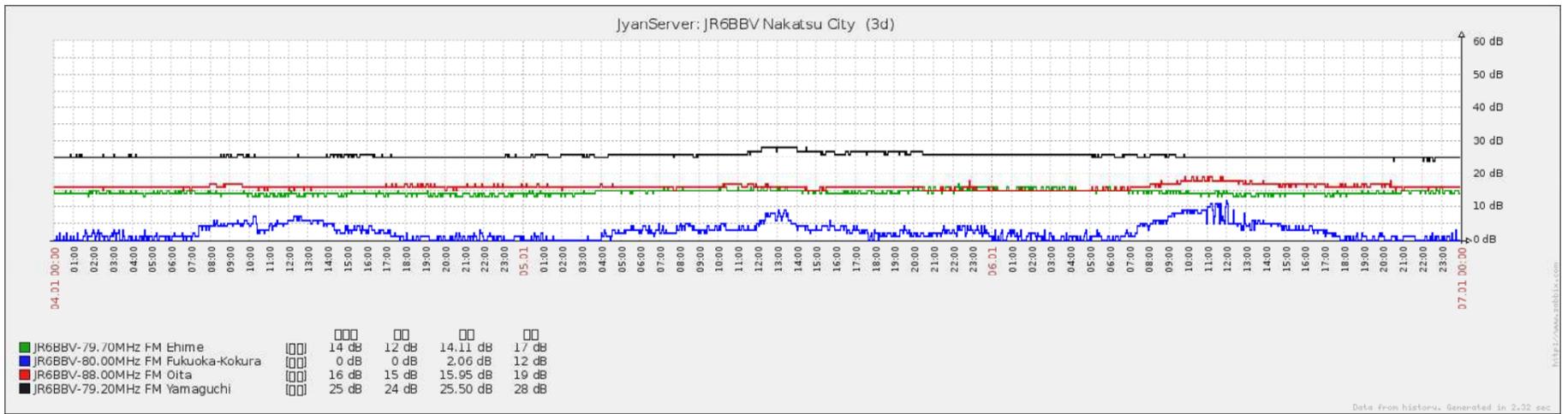
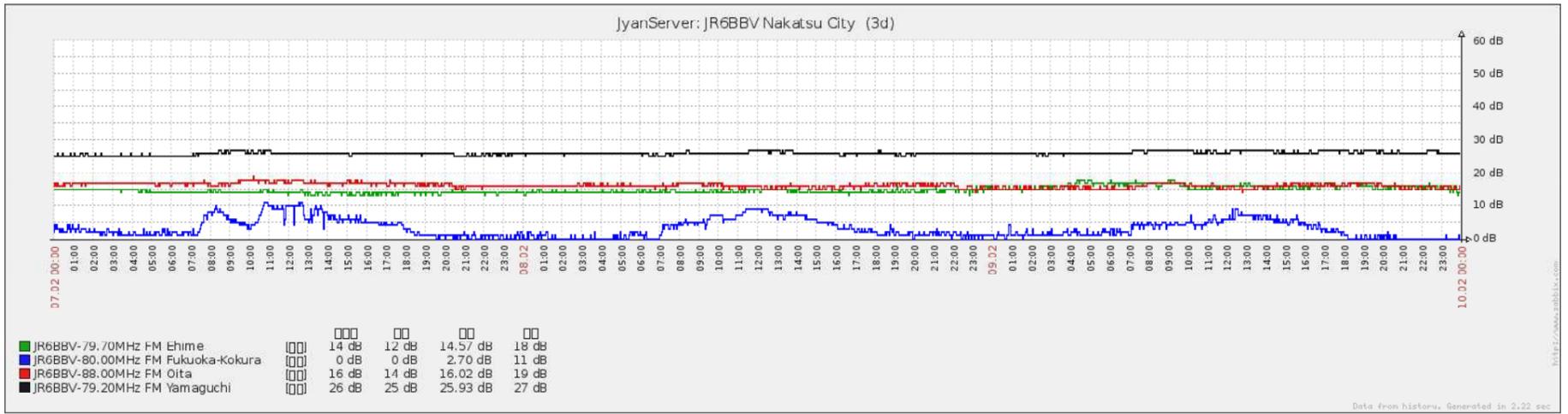
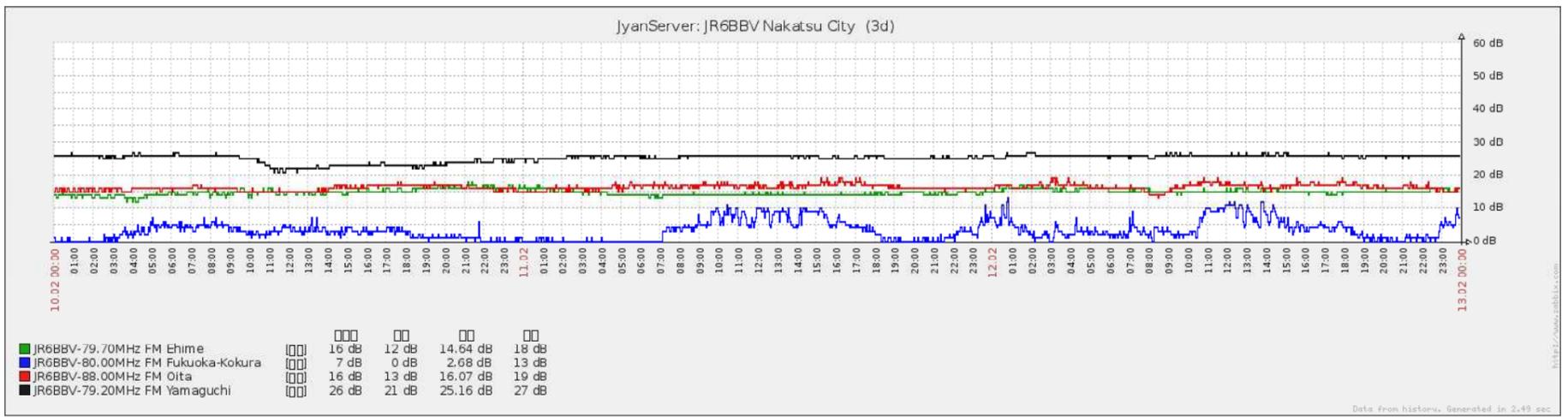


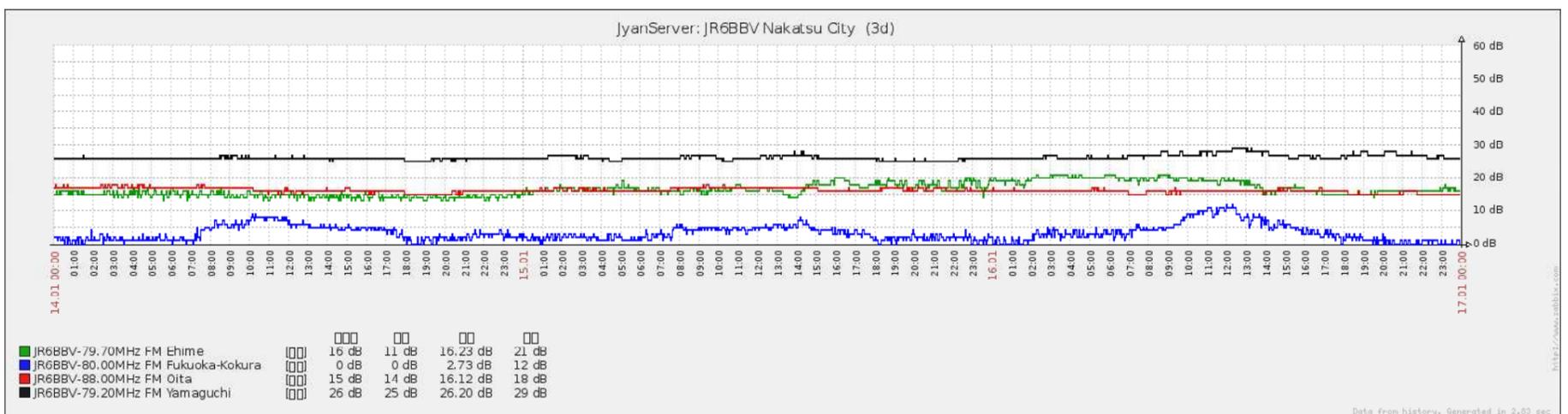
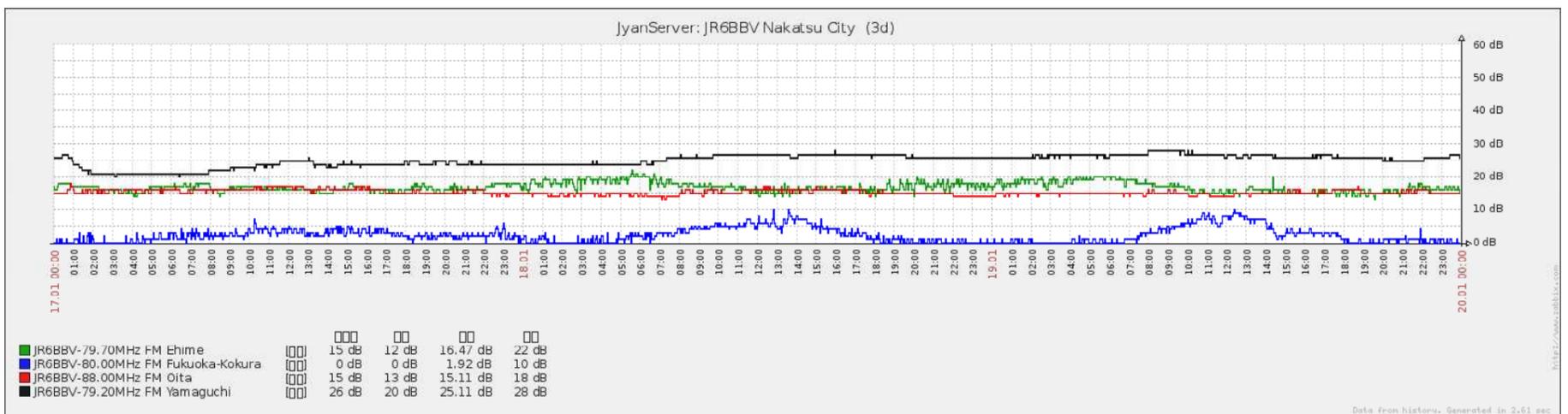
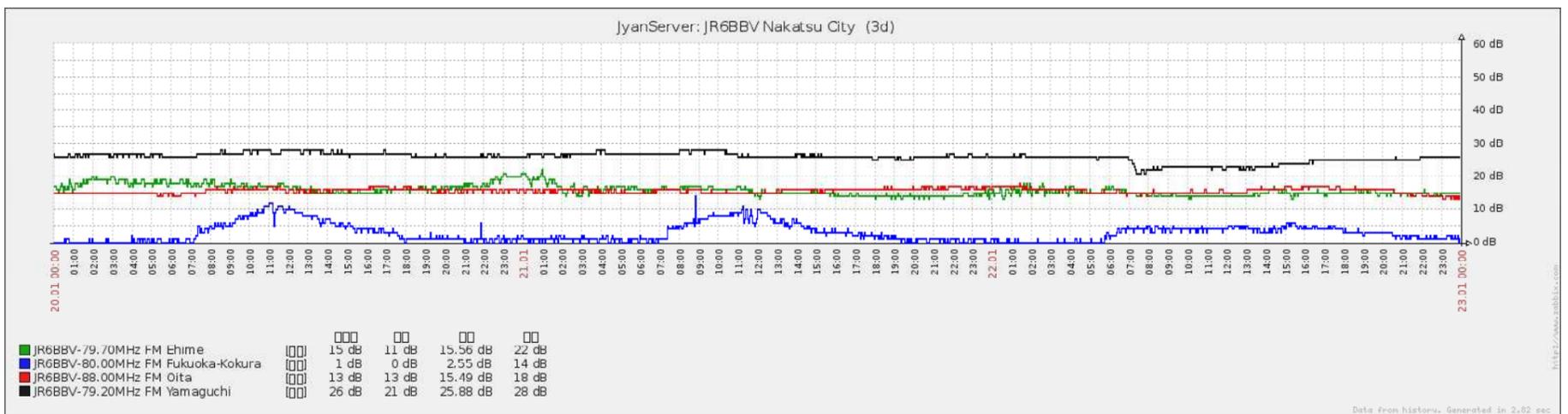
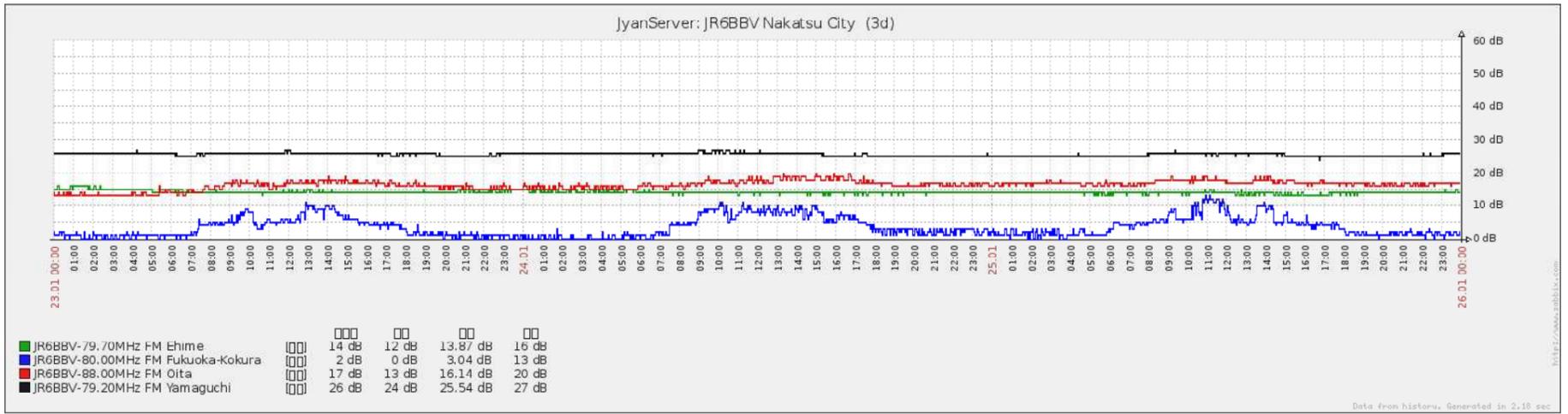
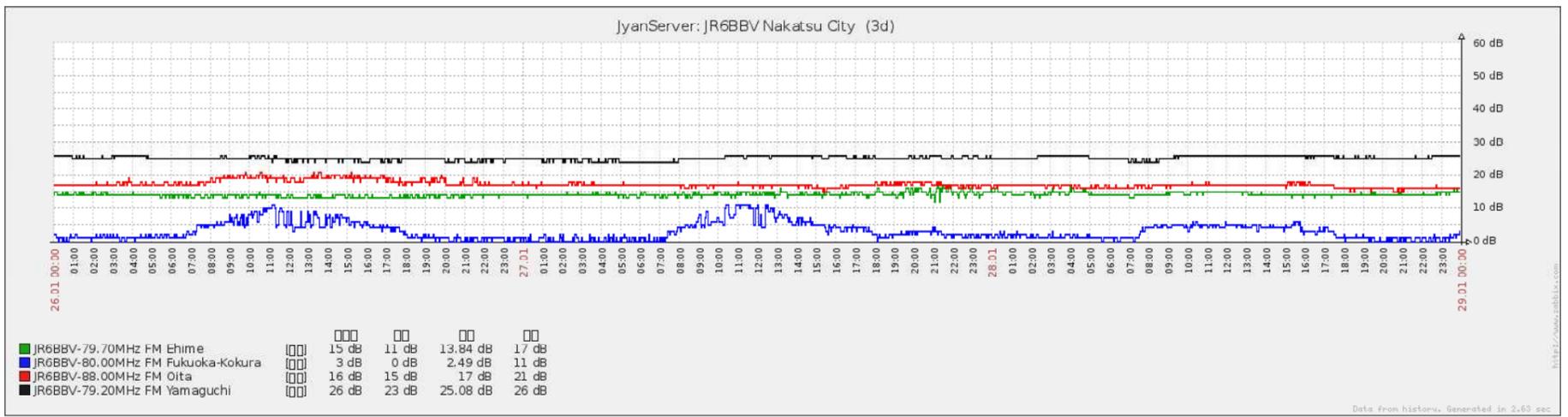


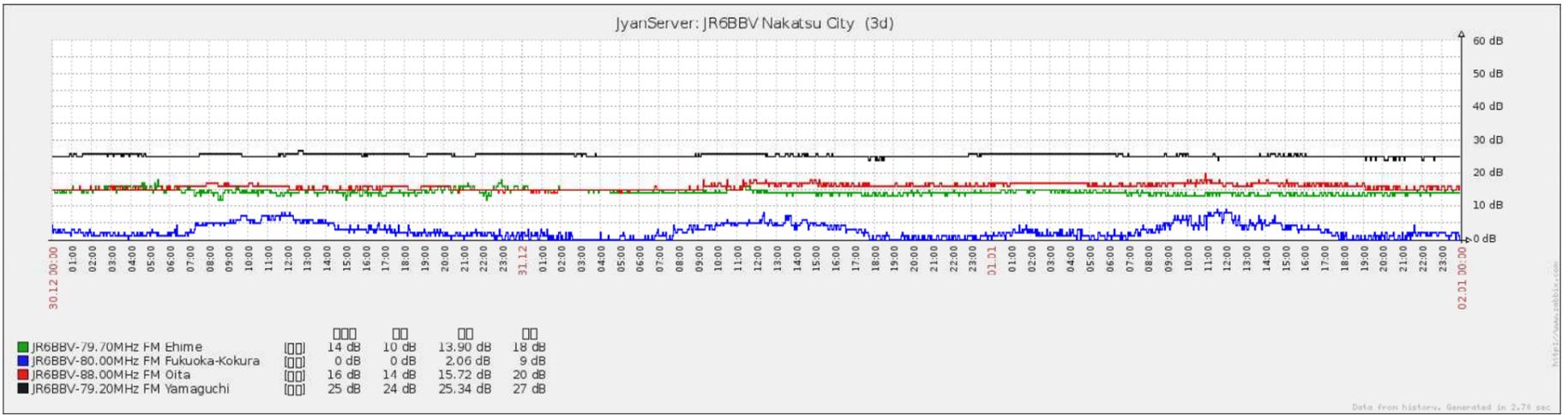
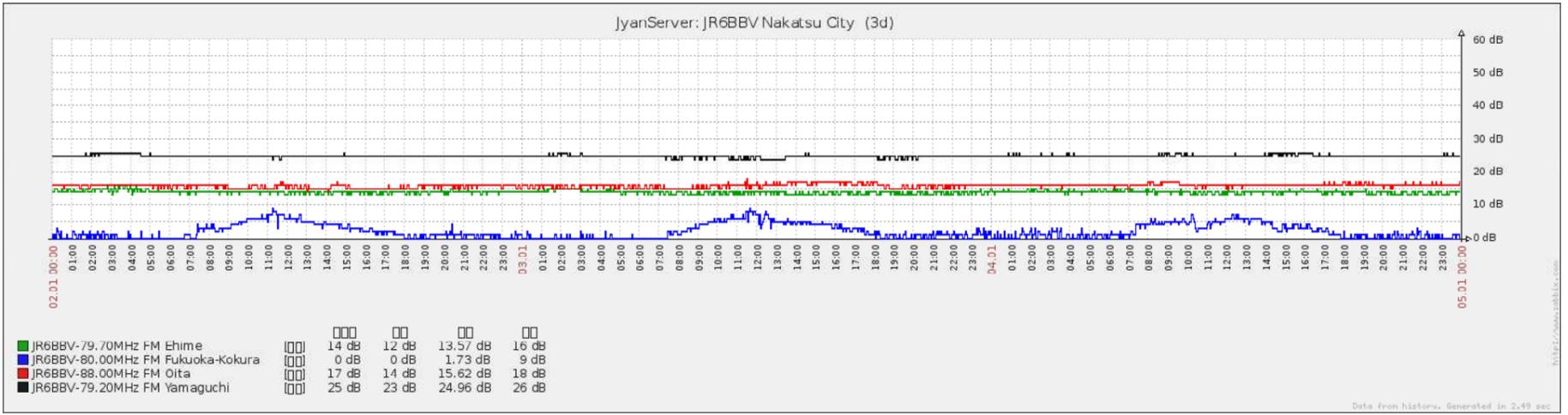
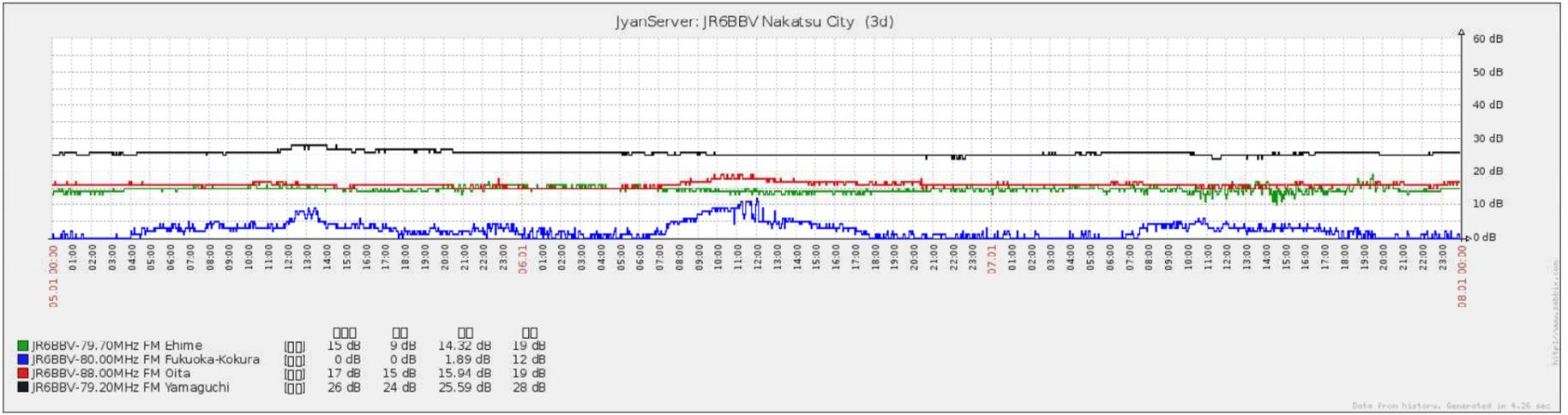
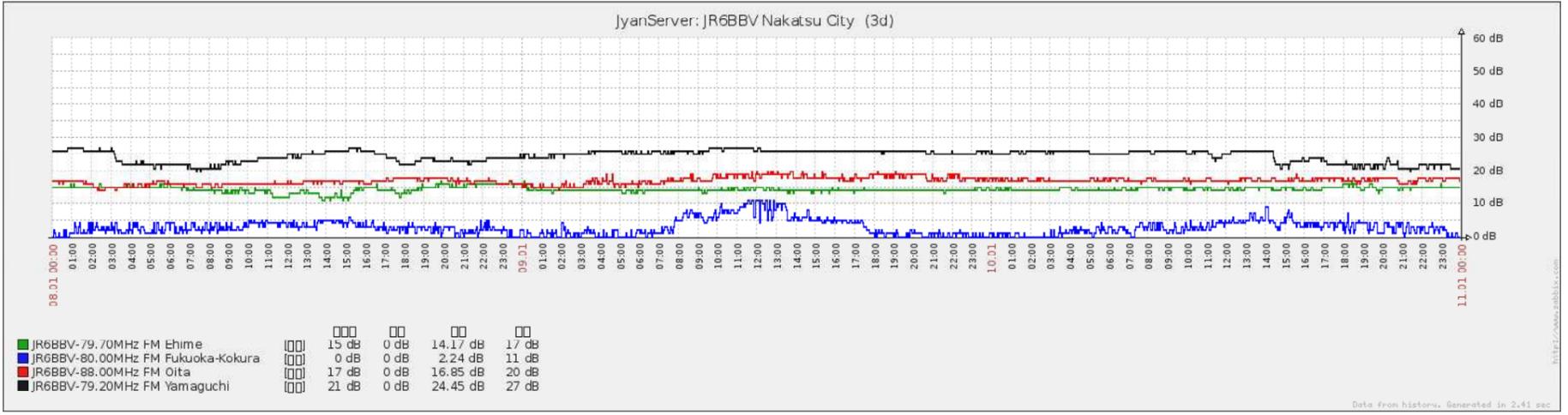
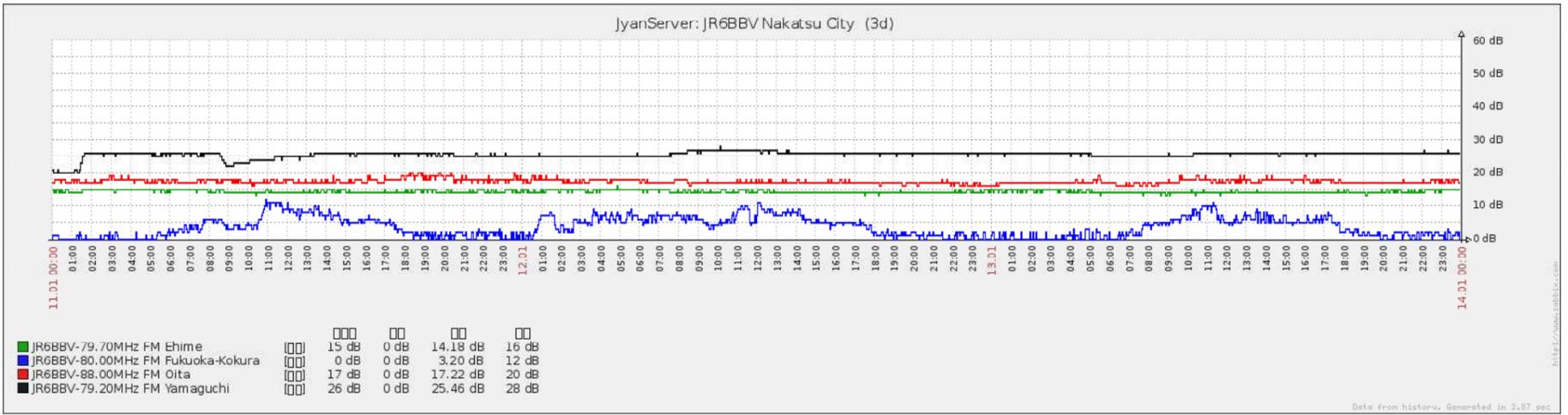
これは、観測機械の欠測です。県下9局で常時観測をしています。

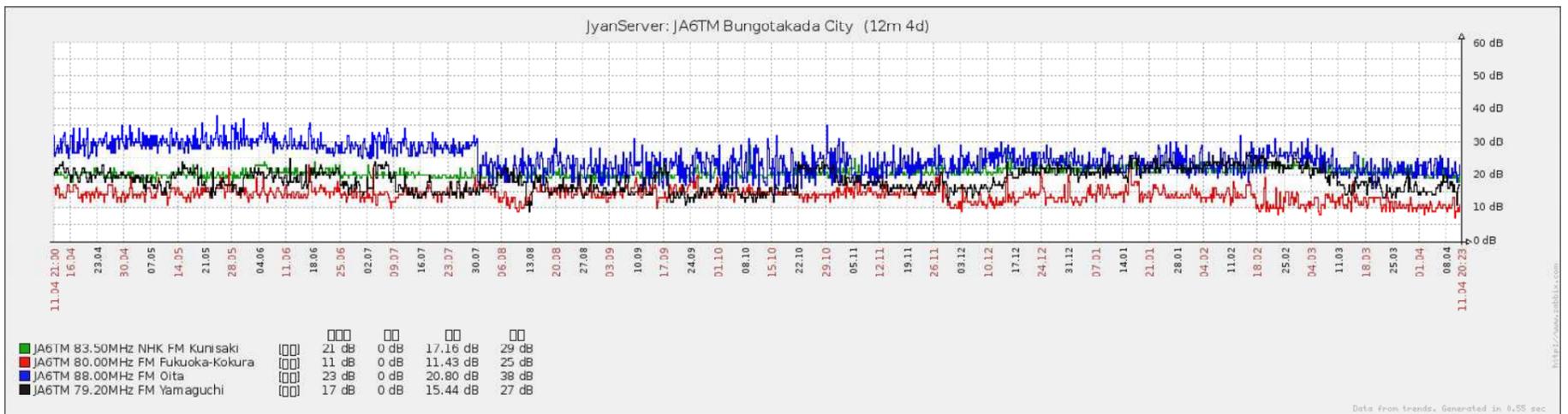




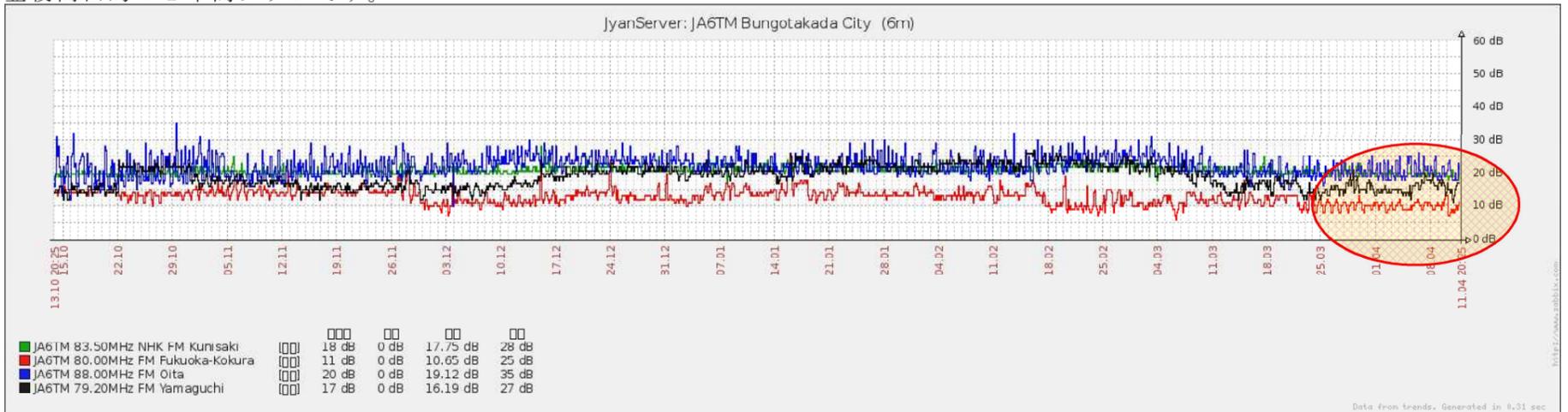




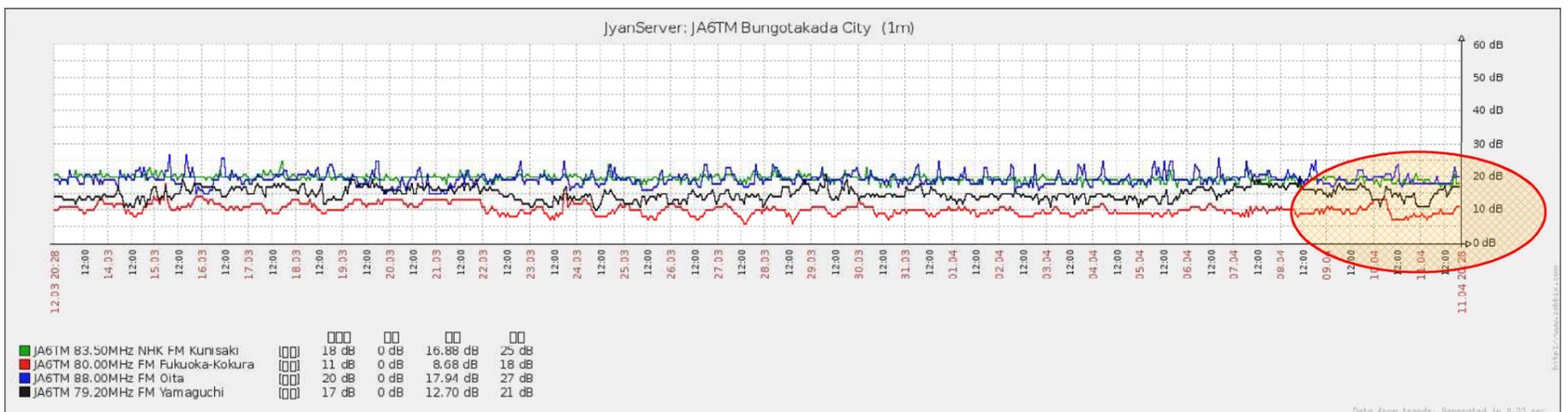
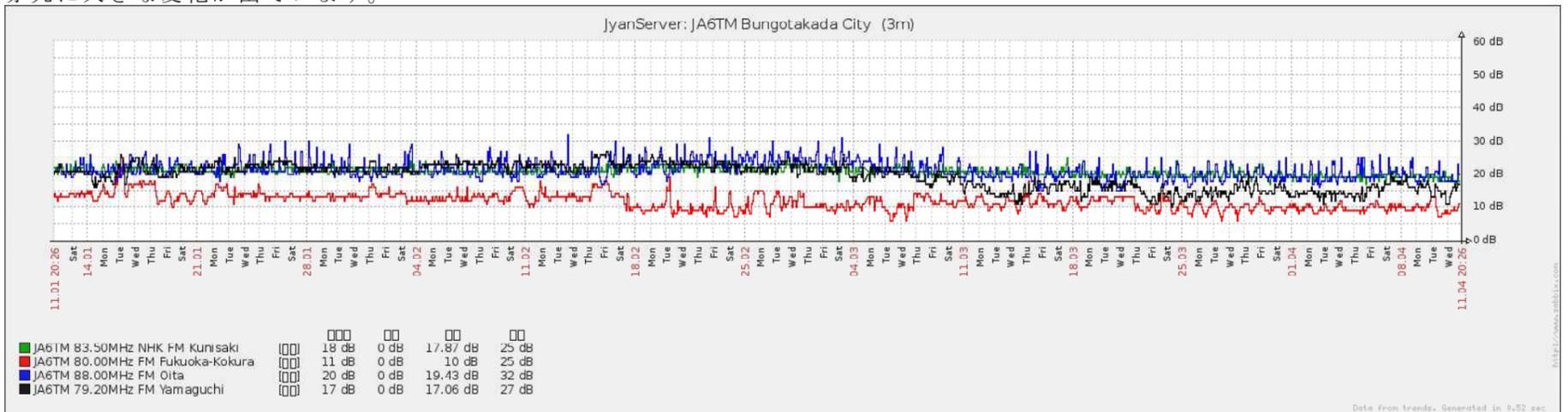




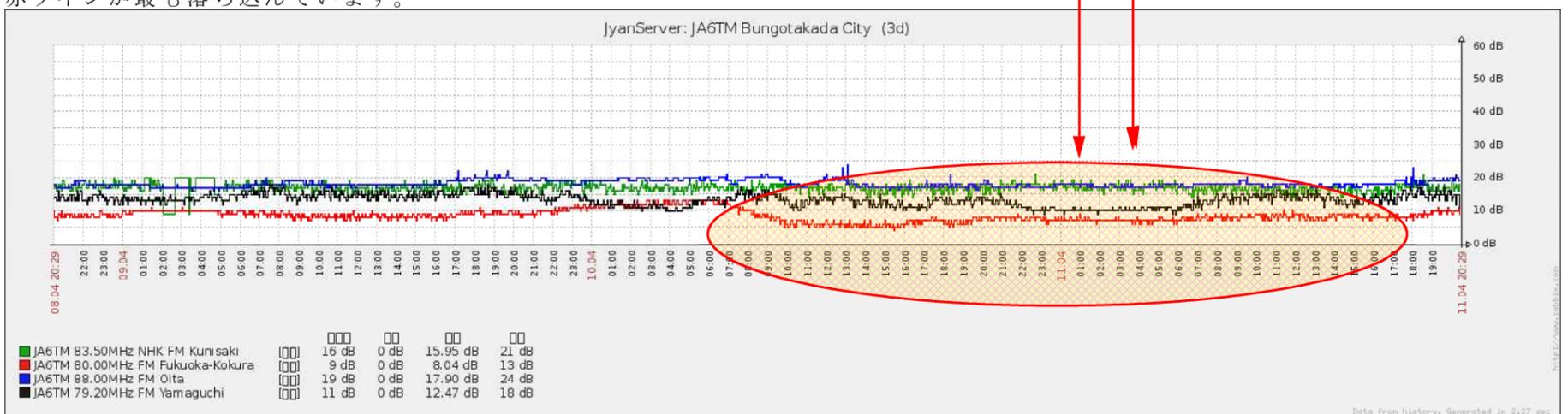
豊後高田局の1年間グラフです。



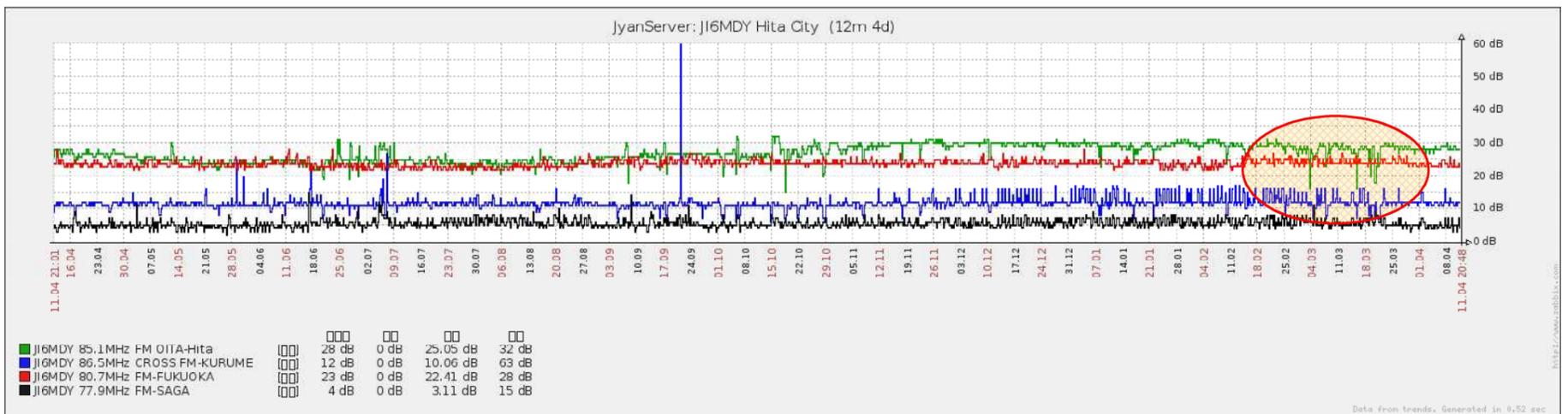
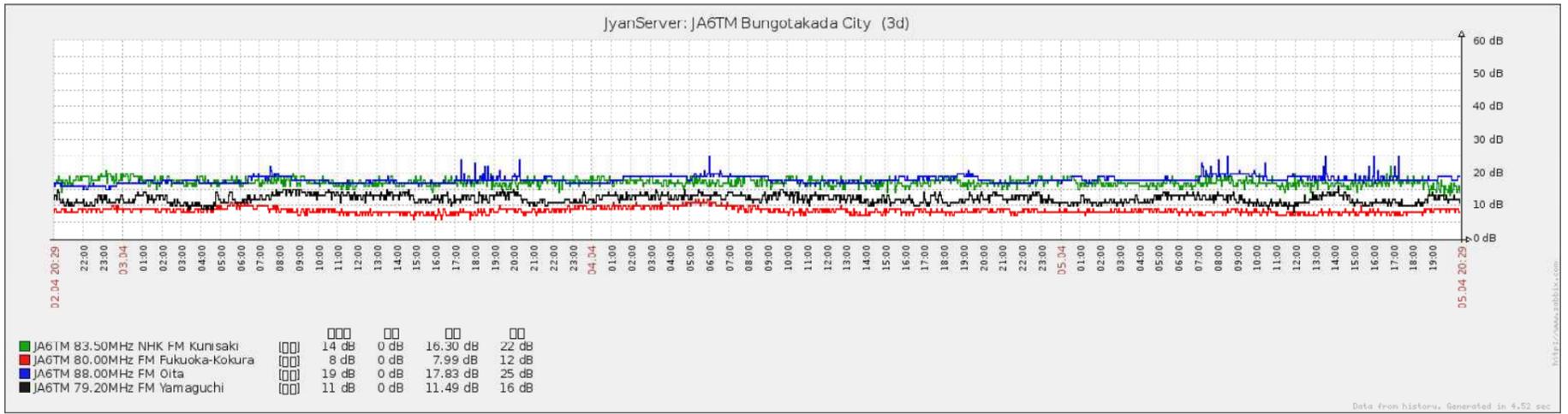
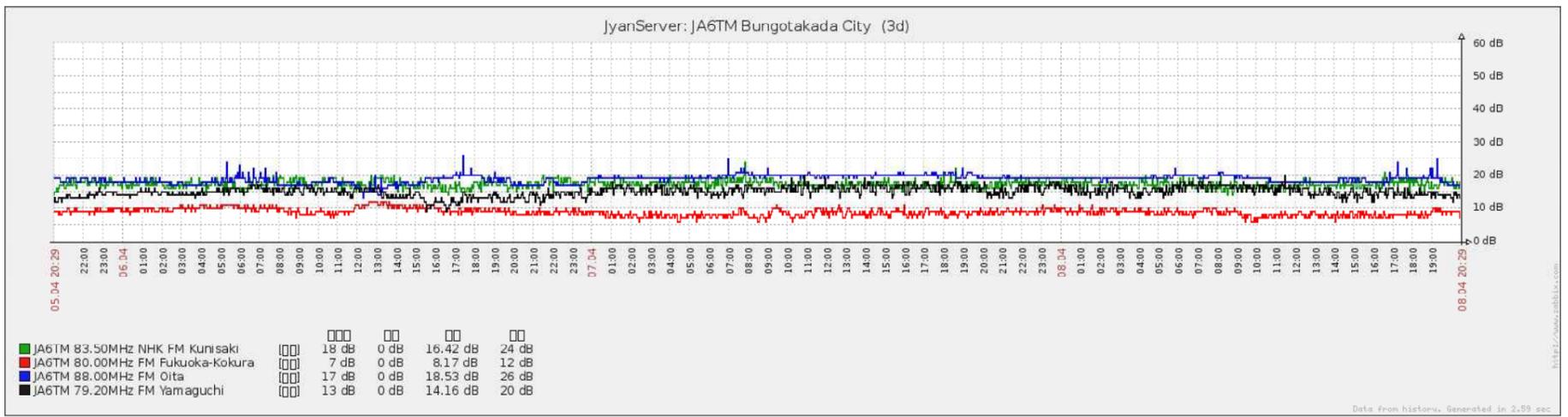
赤丸に大きな変化が出ています。



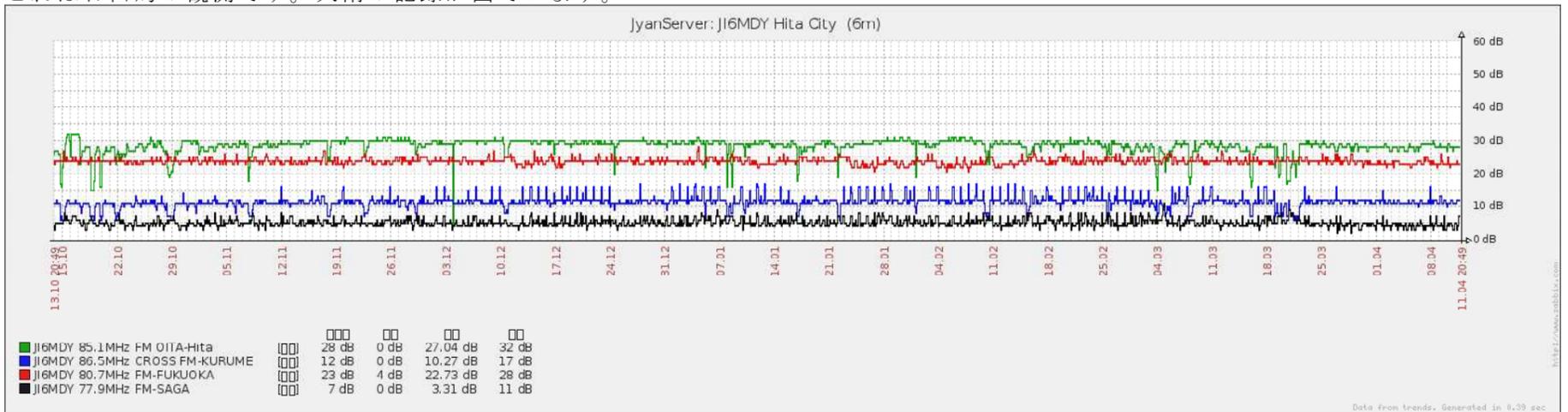
赤ラインが最も落ち込んでいます。

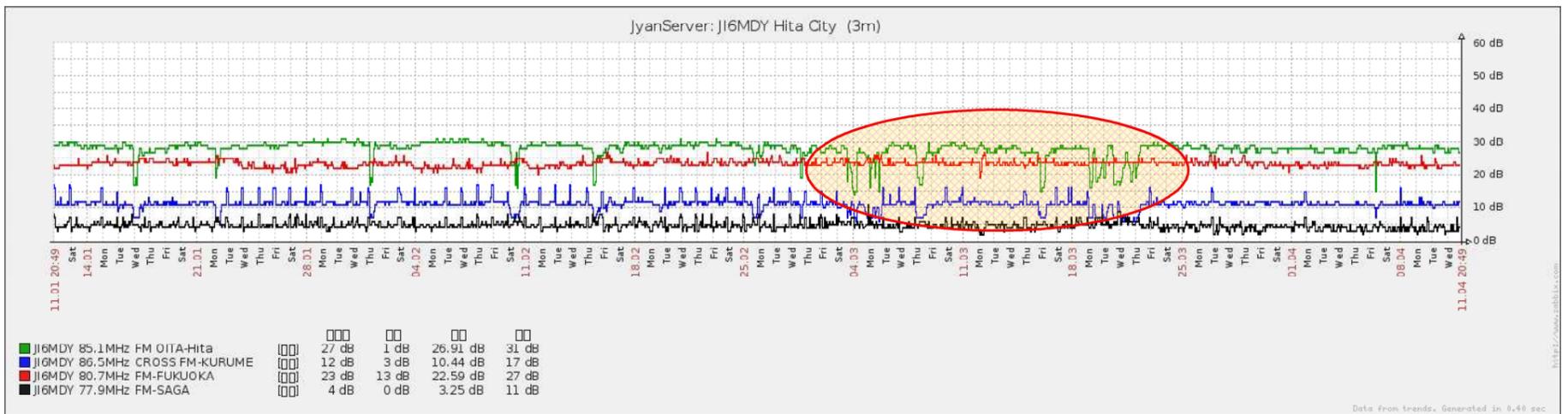


この落ち込みが前日から続き、3～4時頃が最も落ち込んでいます。この時に山の伸び縮みが最も変化し、山崩れが起きています。

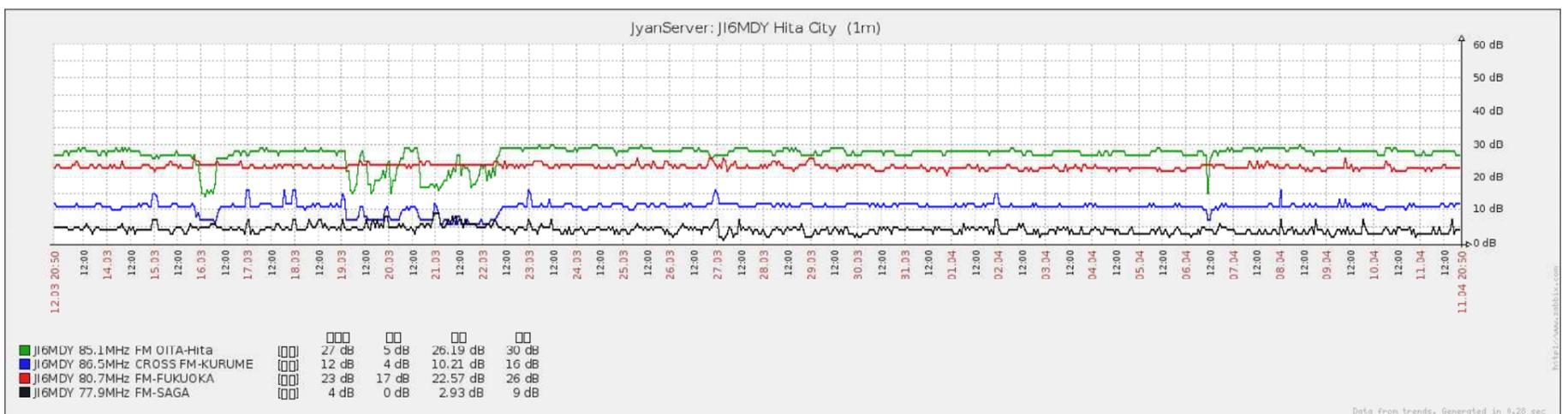
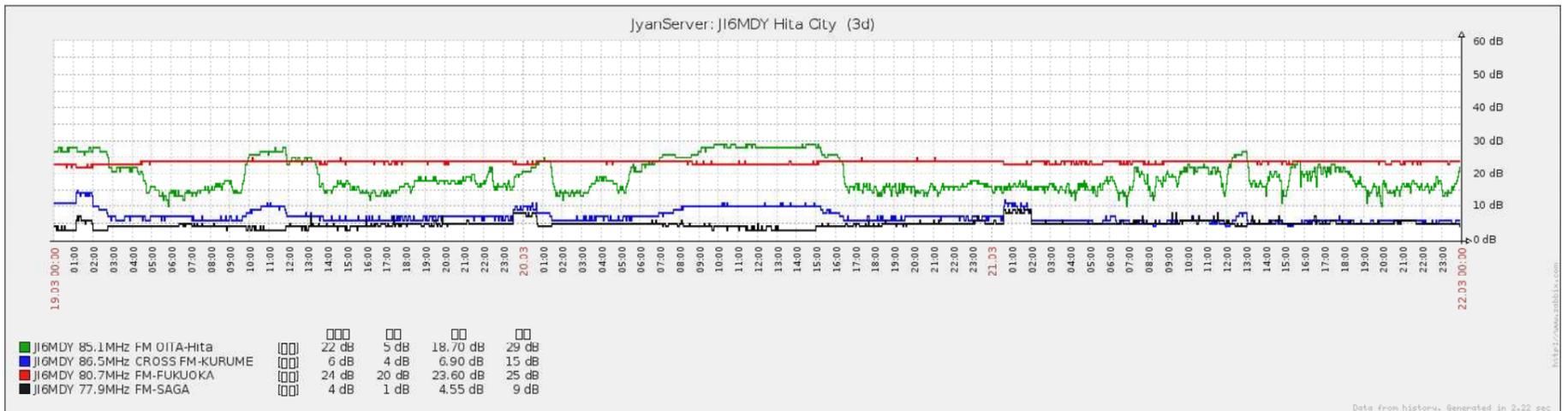
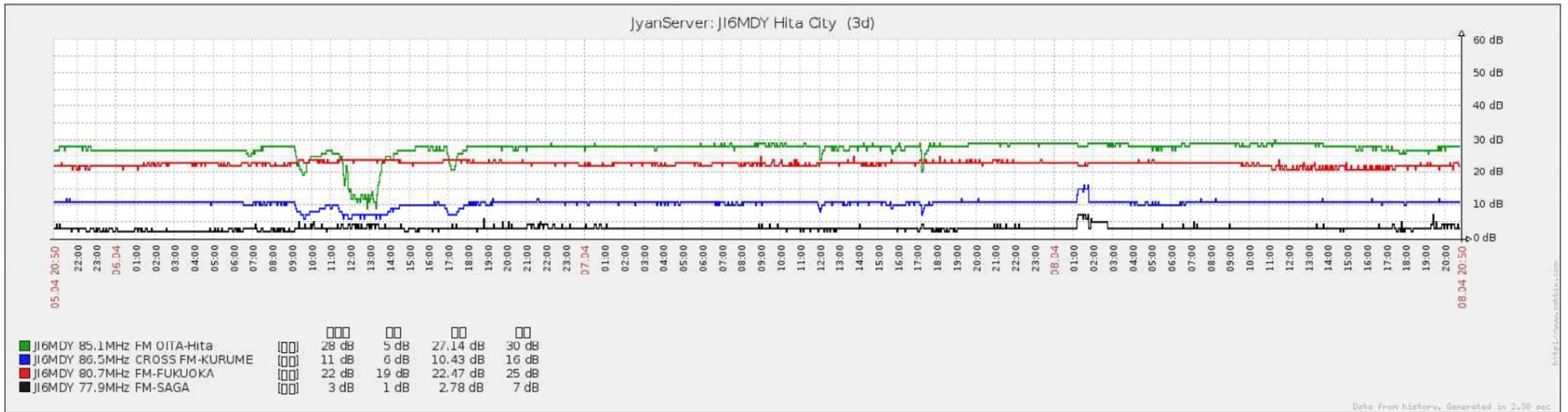


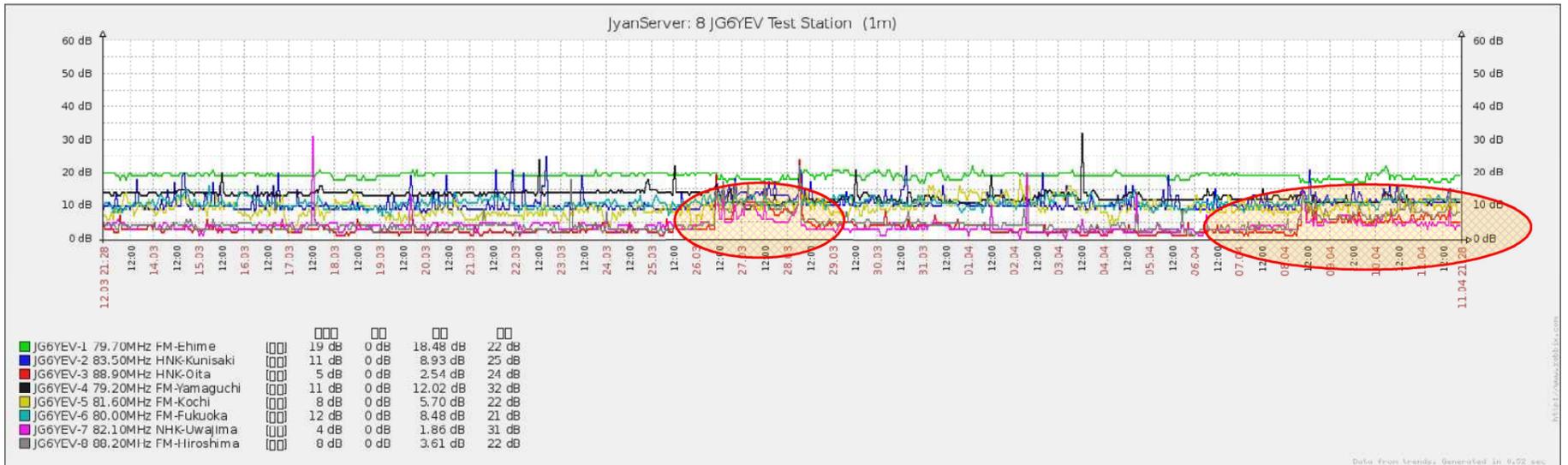
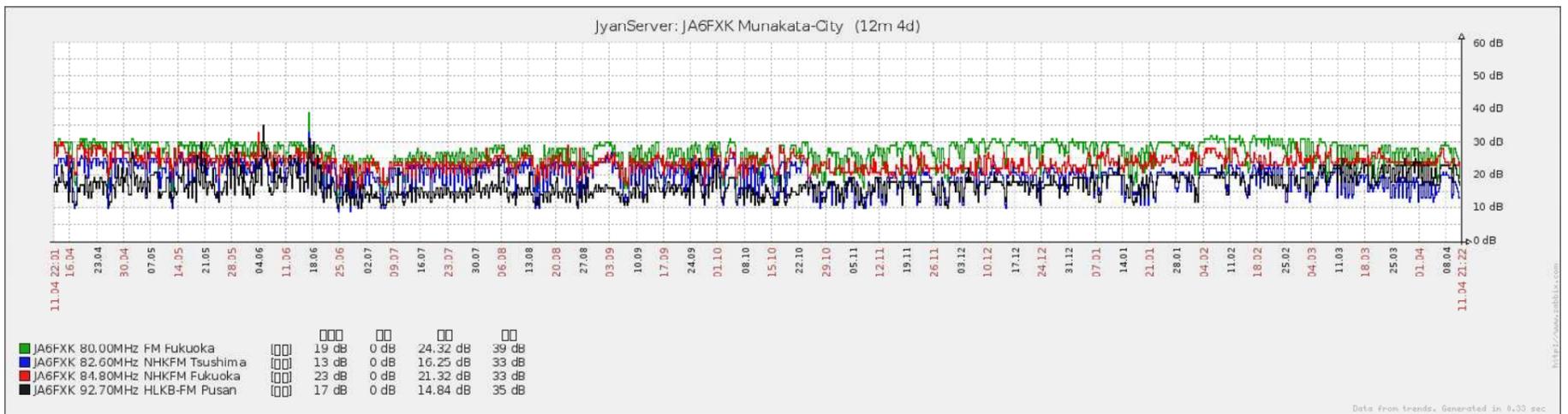
これは日田局の観測です。大雨の記録が出ています。





大雨が良く判ります。





2018年4月11日 JYAN 研 國廣

当電磁観測ネットワークの中津局でのパルスと、豊後高田局の落ち込み、日田局の雨等から類推すると、次のようになります。

今回、地滑りが発生した所は、3月の初旬と中旬の大雨で、地中深くの地盤が緩み、植樹している杉が高く大きくなって重量が増しているところに、6日から9日迄15mクラスの強風に煽られ、大木の根が揺さぶられ、急傾斜地のため地崩れの恐れが高まっているところに、地殻の軋轢による引っ張り強度が最も大きくなった午前3時頃に、地滑り崩落が発生したものと推定しています。

まだ、引っ張り変動が出ていますので、もうしばらくは同類崩れに注意が必要です。

参考 大学の教授等は地盤と水が原因と説明していましたが、午前3時頃起きた直接的原因の説明はありません。当見解は、杉山の崩落災害と言えますが、①杉は直下に岩盤があると根が横に張るため地滑りに弱く、②急傾斜地の場合、③雨が多いと岩盤付近で地滑りが起こりやすく、④強風で根が揺れ、⑤地盤変動による軋轢で、(結果)地崩れ的な地滑りが発生した。と推定しています。

参考 朝地の地割れも、大学の先生は、地盤の伏溜水が原因として水抜き作業を指導しましたが、根抛や効果の無い間違いでした。私は電磁観測で地割れ現象が把握できたので、その後の推移予測をホームページで発表しましたが、概ねその通りとなりました。

耶馬溪と朝地の電磁観測例は別紙の通りです。

地震・噴火等自然災害予防研究グループ 主宰 國廣秀光

従って、同類の場所は落下危険があるので注意が必要でしょう。

2019年5月

追加稿です。

データは、当初に出した頁のままですが、少しマークと解説を加えました。

しばらく、諸々のデータと照合しましたが、やはり上記のとおりで間違いありません。

どこの、誰も、判らないとのことなので、原因(推定含む)と、対策を公開します。

他に、正しい答えや検証データは出ないでしょう。活用して戴ければ幸いです。

JYAN 研 大分観測網(10局) 代表 國廣秀光